

湖西市地域公共交通計画 (案)

令和4年度～令和7年度

令和 年 月

湖西市

目次

- 第1章 計画の概要
 - 1. 公共交通計画策定の背景と目的 1
 - 2. 計画の位置づけ 2
 - 3. 計画の区域 2
 - 4. 計画の期間 2

- 第2章 公共交通の現状と課題
 - 1. 湖西市の現状 4
 - 2. 公共交通の現状 16
 - 3. 公共交通を取り巻く課題 20

- 第3章 基本計画
 - 1. 計画の基本方針 22
 - 2. 計画の目標 23
 - 3. 公共交通の将来像 24

- 第4章 目標を達成するための事業
 - 1. 体系図 26
 - 2. 個別事業 28

- 第5章 事業の評価と進行政管理
 - 1. 評価の指標 44
 - 2. 進行政管理の基本的な方針 46

第1章 計画の概要

1. 公共交通計画策定の背景と目的

近年の人口減少や少子高齢化の本格化により我が国においては2040年には高齢化のピーク期を迎えます。湖西市でも同様に今後、人口減少と少子高齢化がさらに進み市政運営に様々な影響を及ぼすと予測されます。

湖西市では、これを踏まえ人口減少に歯止めをかけ、住民が不自由なく暮らせる街であり続け誰もが「住みたい・住み続けたい」と思えるまちづくりの指針として「第6次湖西市総合計画」（以下、総合計画）を令和3年3月に策定しました。その第1歩として2021年から2025年までの具体的な計画が示されている実践計画では、「働くまちから 働いて暮らすまちへ 職住近接」をテーマとしています。また、「職住近接」を促進するためのポイントの1つとして住環境の整備をあげています。

地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや、個性・活力ある湖西市の振興、「職住近接」を実現し「住みたい・住み続けたい」湖西市のまちづくりを進める上で「移動」は欠かせない存在です。

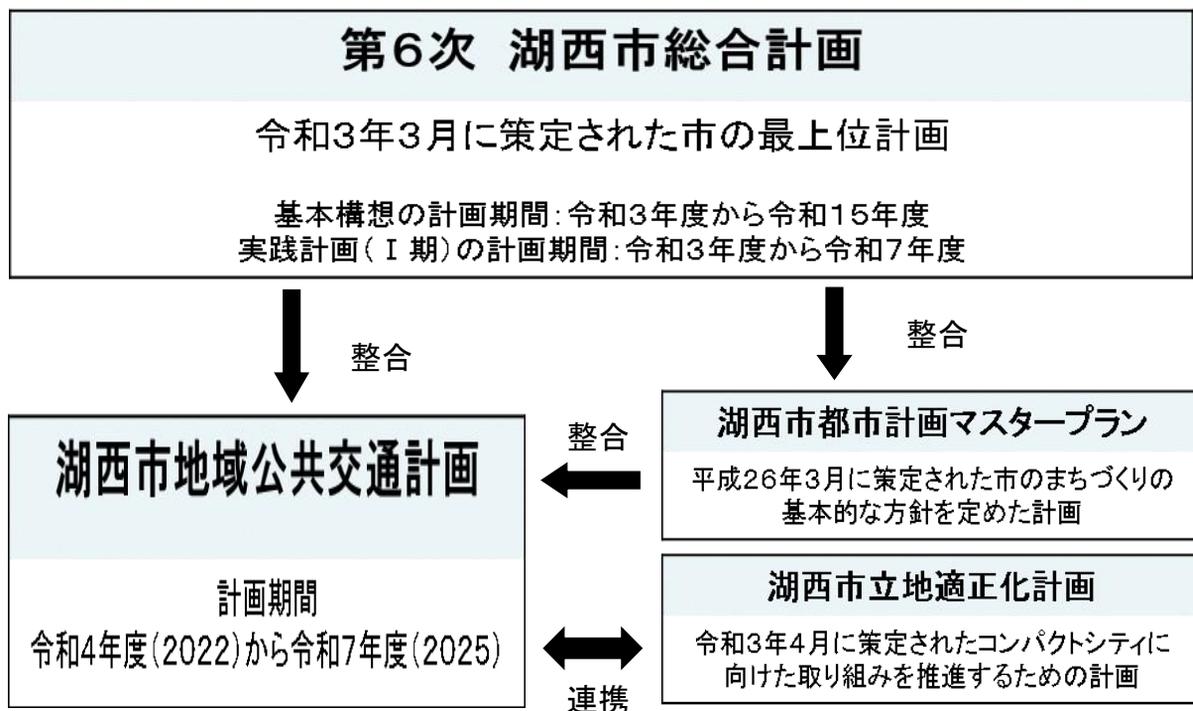
「移動」を支える交通については、立地適正化計画の策定と連動し、まちづくりと連携した面的な公共交通ネットワークを再構築し、持続可能な公共交通網の形成を図るため、平成29年5月に「湖西市地域公共交通網形成計画」を策定し、コミュニティバス「コーちゃんバス」やデマンド型乗合タクシーの導入による利便性の向上や効率的な運行に努めてまいりました。

一方、国では地域の移動ニーズを踏まえ、地域自らが交通をデザインしていくため令和2年11月に持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が施行されました。この改正では、輸送資源の総動員による移動手段の確保や既存の公共交通サービスの改善の徹底による地域の移動ニーズへのきめ細かな対応や、地域が自らデザインする地域の交通として「地域公共交通計画」の策定が努力義務化されています。

こうした状況を踏まえ、上位計画である総合計画や関連計画である湖西市立地適正化計画などと整合・連携を図り、利便性と持続可能性を両立した公共交通とし、「市民が安心して暮らすことができるまち」を実現するために「湖西市地域公共交通計画」を策定します。

2. 計画の位置づけ

本計画は、上位計画の総合計画や関連計画の湖西市都市計画マスタープランや立地適正化計画などと整合・連携を図り、策定するものです。



3. 計画の区域

本計画の区域は、湖西市全域を対象とします。

4. 計画の期間

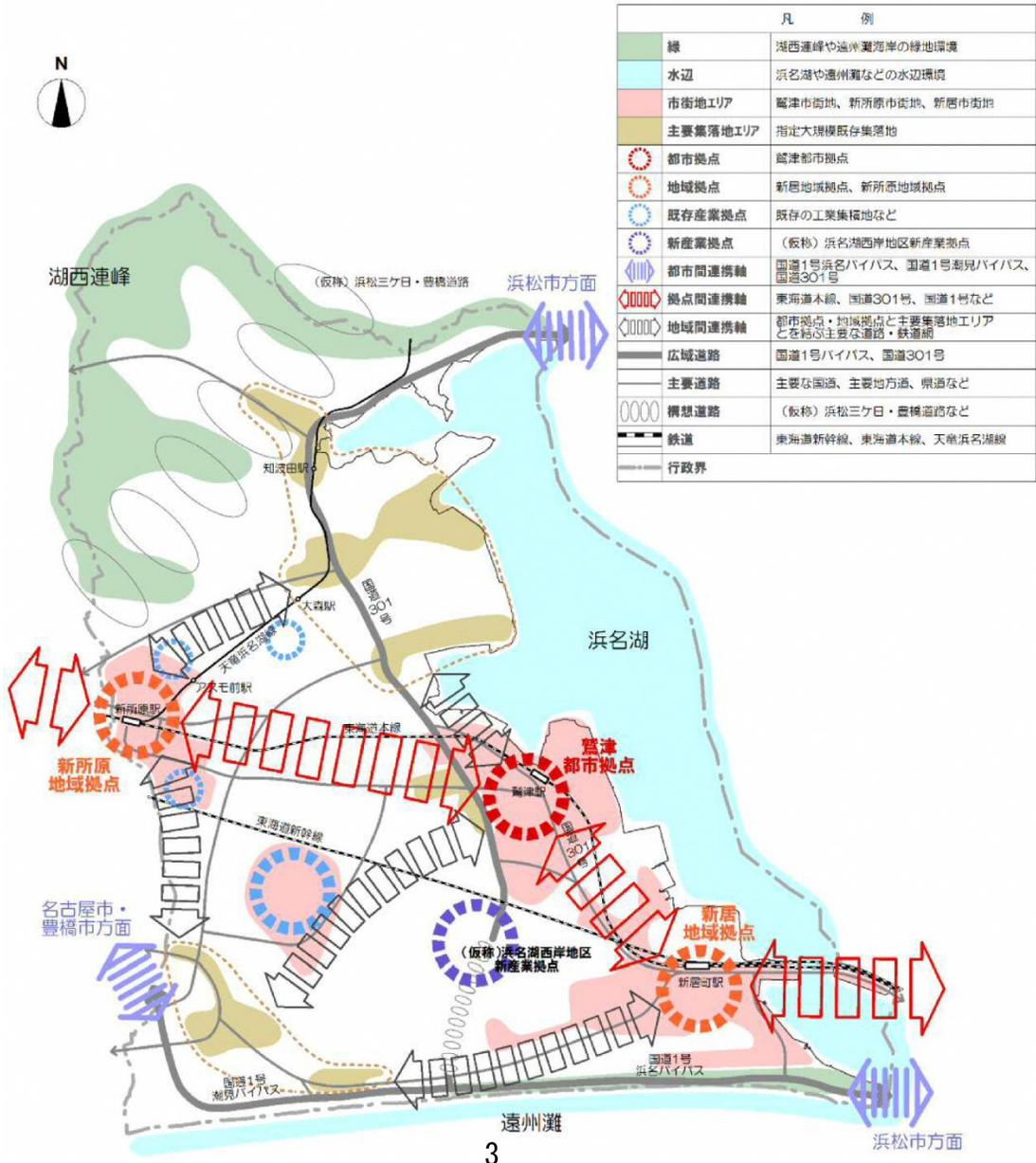
本計画の期間は、本市が目指す将来の理想の姿を見据え、上位計画である総合計画との整合を図るため、総合計画の基本構想の実現に向けて、必要な施策を体系化し、方向性を示した具体的な計画である実践計画にあわせ令和4年度(2022)から令和7年度(2025)までの4年間とします。

なお、公共交通を取り巻く環境の変化に応じて、計画は随時見直します。

【参考】都市計画マスタープランにおける将来都市構造

●集約・連携型の都市構造

- 「集約・連携型の都市構造」を目指す上で、都市機能を集約する拠点は、JR東海道本線 鷺津駅、新居町駅及び新所原駅の、各駅を中心とする市街地に配置します。
- このうち、鷺津駅を中心とする鷺津市街地は「都市拠点」として位置づけ、市民や来訪者など、あらゆる人が集まり交流する本市の中心地として、商業・業務・文化・娯楽・公共公益・民住など、高次都市機能の集約を図るとともに、利便性の高い地域公共交通など、都市活動を支援する多様なサービスの提供・充実を図ります。
- また、新居町駅を中心とする新居市街地や、新所原駅を中心とする新所原市街地は「地域拠点」として位置づけ、地域における生活・交流の中心地として、居住機能のほか、生活に身近な商業・業務機能や、自然や歴史などの地域資源を活かした観光機能などの充実を図るとともに、地域公共交通などのサービスの提供・充実を図ります。

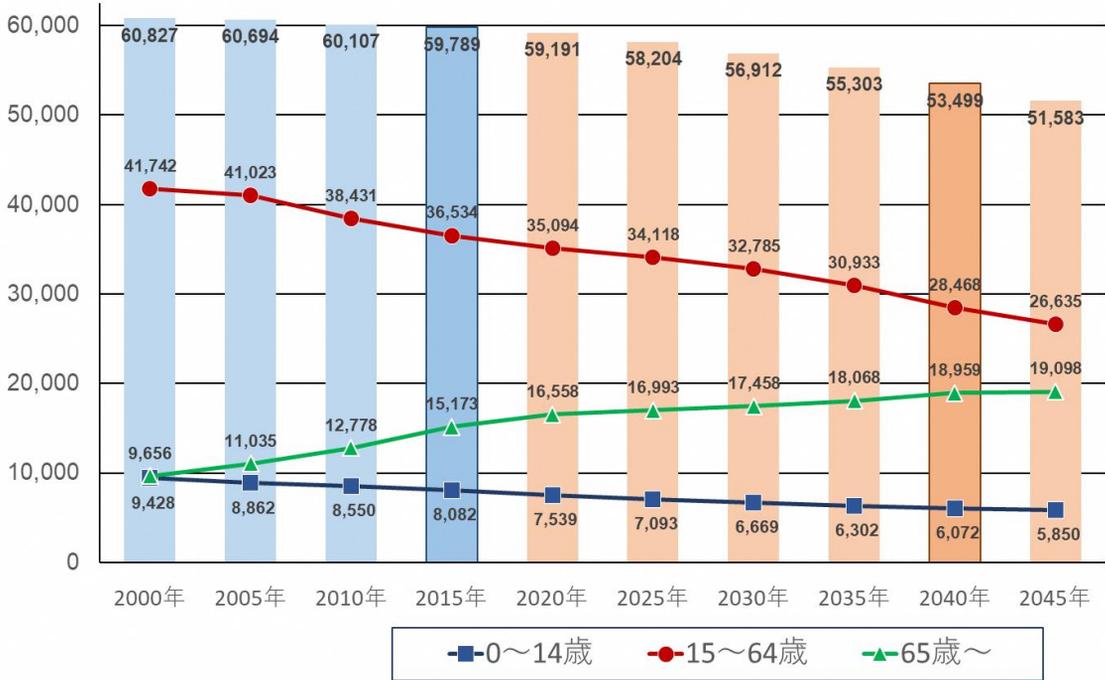


第2章 湖西市の現状と課題

1. 湖西市の現状

① 人口推移と推計（国勢調査に基づく人口推計）

湖西市の人口推計（3区分）



社人研準拠

国立社会保障人口問題研究所（社人研）が2015年の国勢調査をもとに2018年3月に公表した推計値に準拠した数値です。

合計特殊出生率は1.58前後で、社会増減は微増で算定されています。

共通の基準で全国の市区町村を推計しており、国のガイドライン等で示されるものについては社人研の推計を根拠として将来の整備計画を組み立てます。

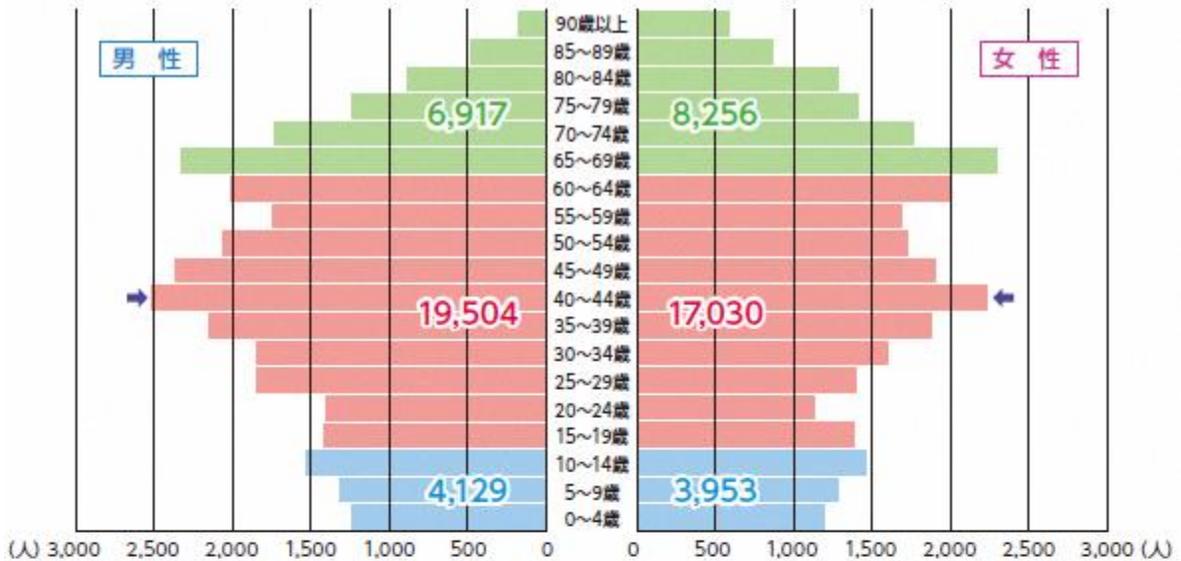
少子高齢化が今後も進んでいくと推計されています。

	2015年⇒2020年	2020年⇒2025年	2025年⇒2030年	2030年⇒2035年	2035年⇒2040年
社会増減（人）	+82	+216	+242	+242	+350
出生数（人）	2,339	2,118	2,031	1,974	1,886
(合計特殊出生率)	(1.59)	(1.57)	(1.58)	(1.58)	(1.59)
死亡数（人）	3,019	3,321	3,566	3,825	4,040
人口増減（人）	▲ 598	▲ 987	▲ 1,292	▲ 1,609	▲ 1,804
推計人口（人）	59,191	58,204	56,912	55,303	53,499

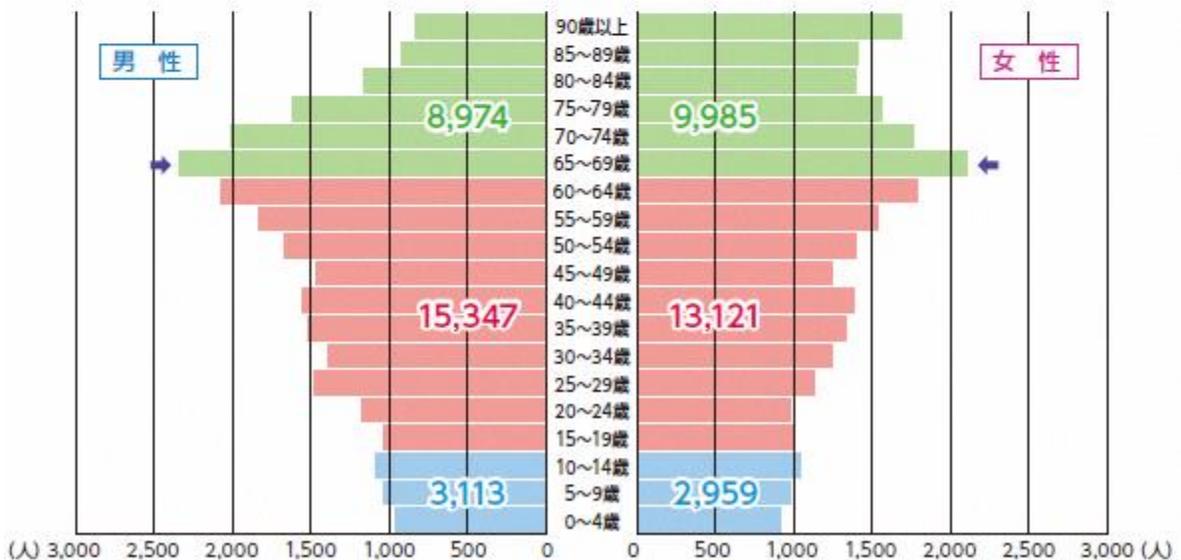
出典：湖西市総合計画

② 人口構造の変化

2015年 湖西市の人口構造 (国勢調査実測値)



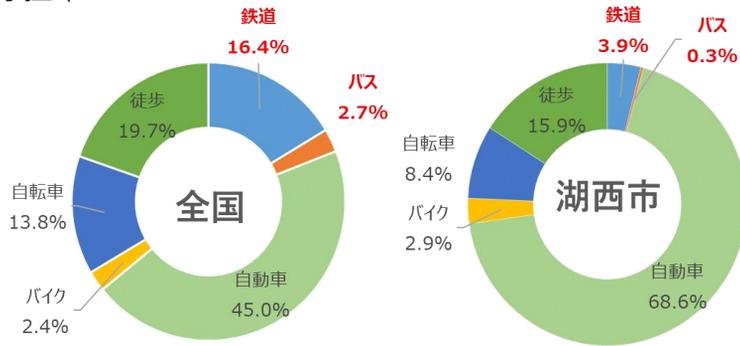
2040年 湖西市の人口構造 (推計値: 社人研準拠)



2040年には、団塊ジュニア世代(1971～1974年生まれ グラフの→で示す層)が高齢者となり、高齢化のピーク期を迎えます。

出典：湖西市総合計画

③ 公共交通分担率



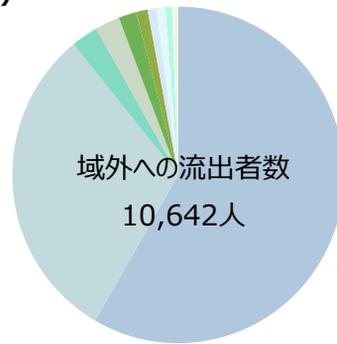
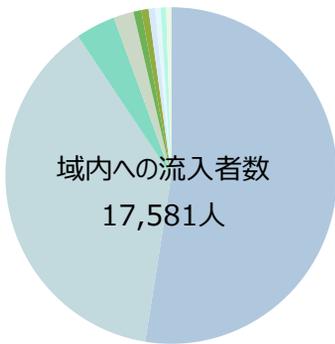
代表交通手段別分担率（全目的）

	鉄道	バス	自動車	バイク	自転車	徒歩	全手段	公共交通分担率
湖西市	3.9%	0.3%	68.6%	2.9%	8.4%	15.9%	100.0%	4.2%
全国	16.4%	2.7%	45.0%	2.4%	13.8%	19.7%	100.0%	19.1%

出典：第4回西遠都市圏PT調査、H27全国都市交通特性調査

④ 通勤・通学における人の動き（2015年）

流入者数：17,581人
 流出者数：10,642人
 (流入超過数：6,939人)

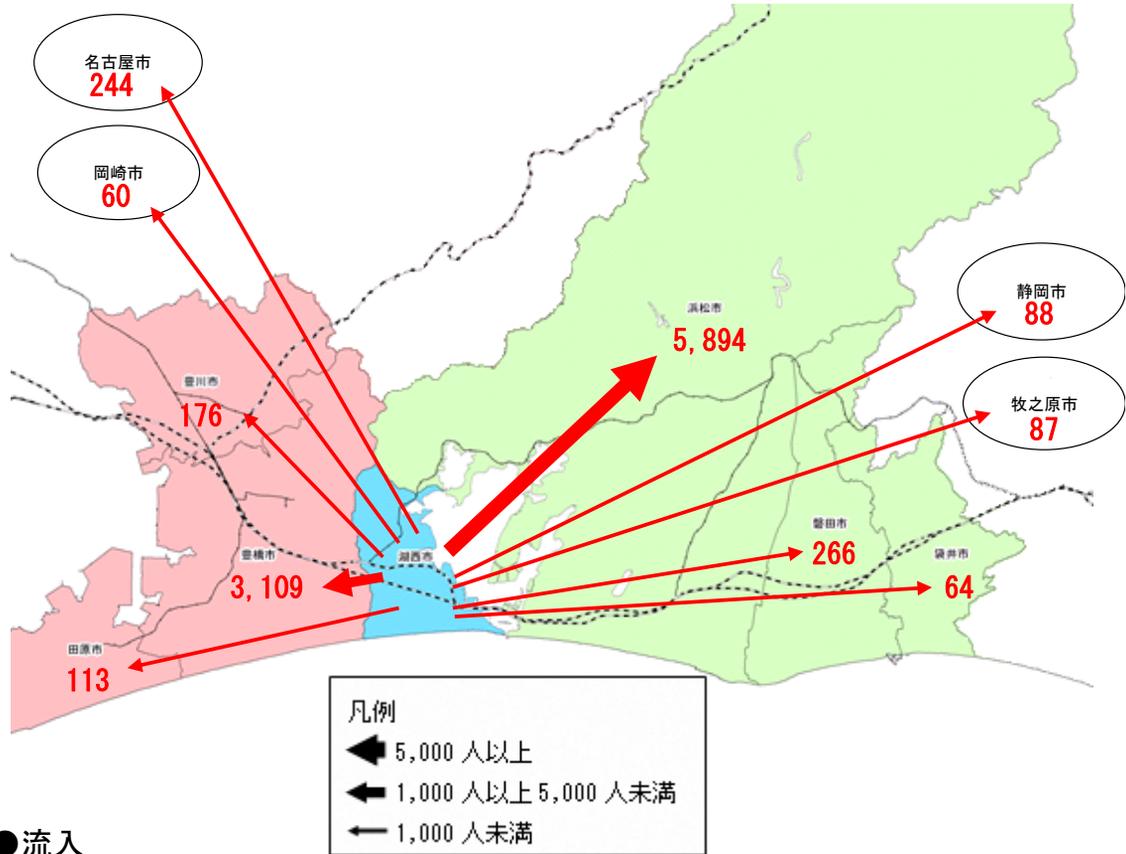


- 1位 浜松市 8,945人
- 2位 豊橋市 6,470人
- 3位 豊川市 659人
- 4位 磐田市 334人
- 5位 田原市 130人
- 6位 新城市 121人
- 7位 岡崎市 108人
- 8位 掛川市 91人
- 9位 袋井市 89人
- 10位 蒲郡市 86人

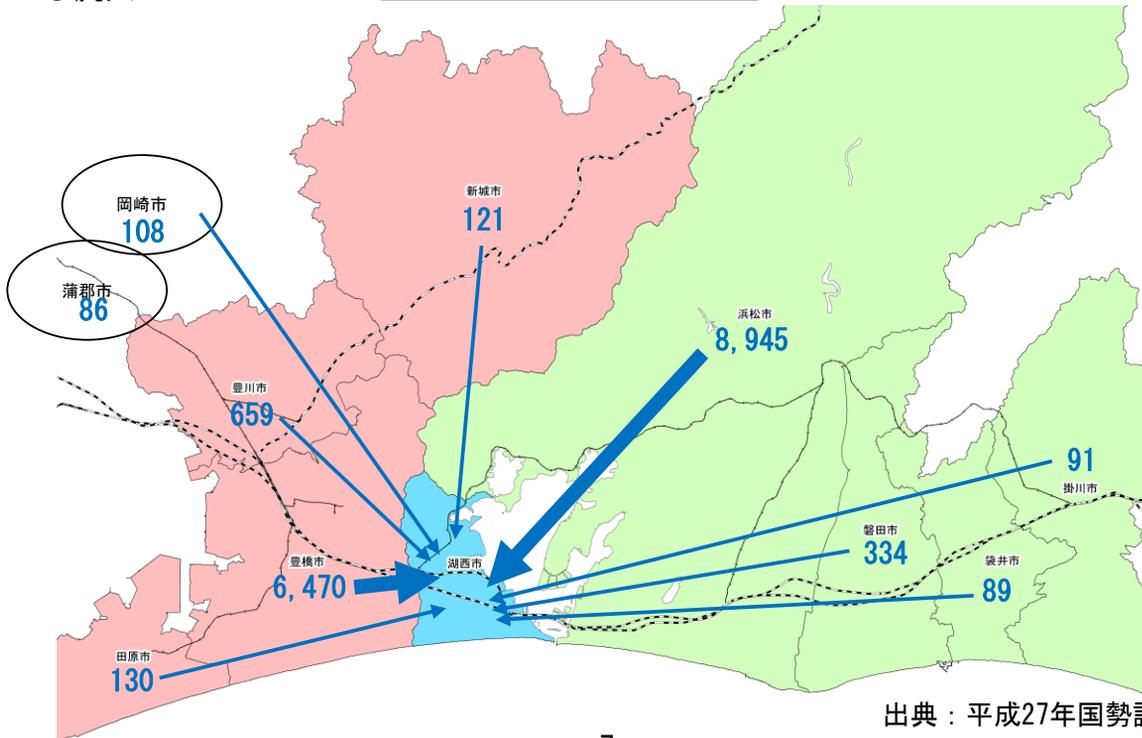
- 1位 浜松市 5,894人
- 2位 豊橋市 3,109人
- 3位 磐田市 266人
- 4位 名古屋市 244人
- 5位 豊川市 176人
- 6位 田原市 113人
- 7位 静岡市 88人
- 8位 牧之原市 87人
- 9位 袋井市 64人
- 10位 岡崎市 60人

【図】通勤通学人口流動

●流出

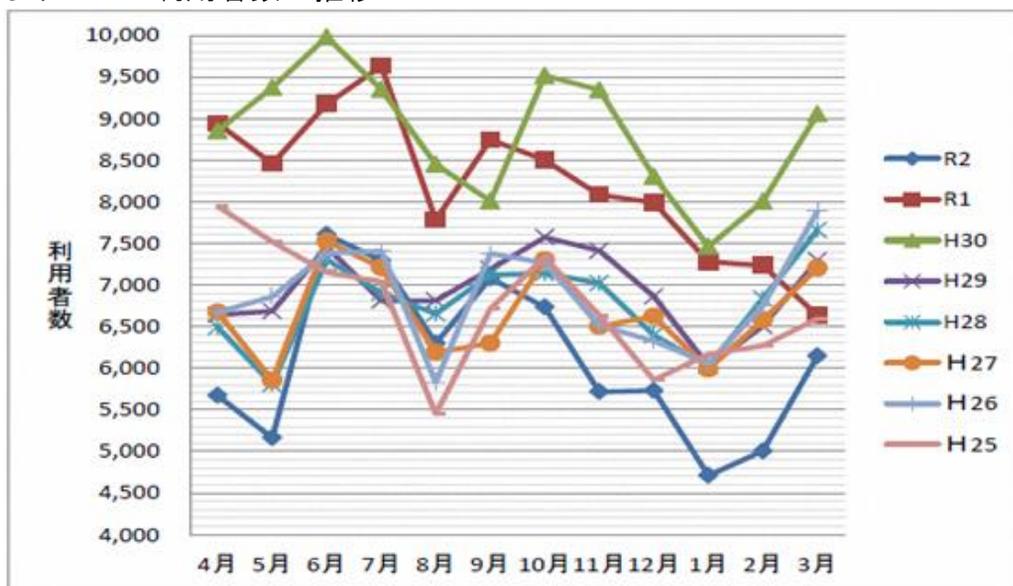


●流入



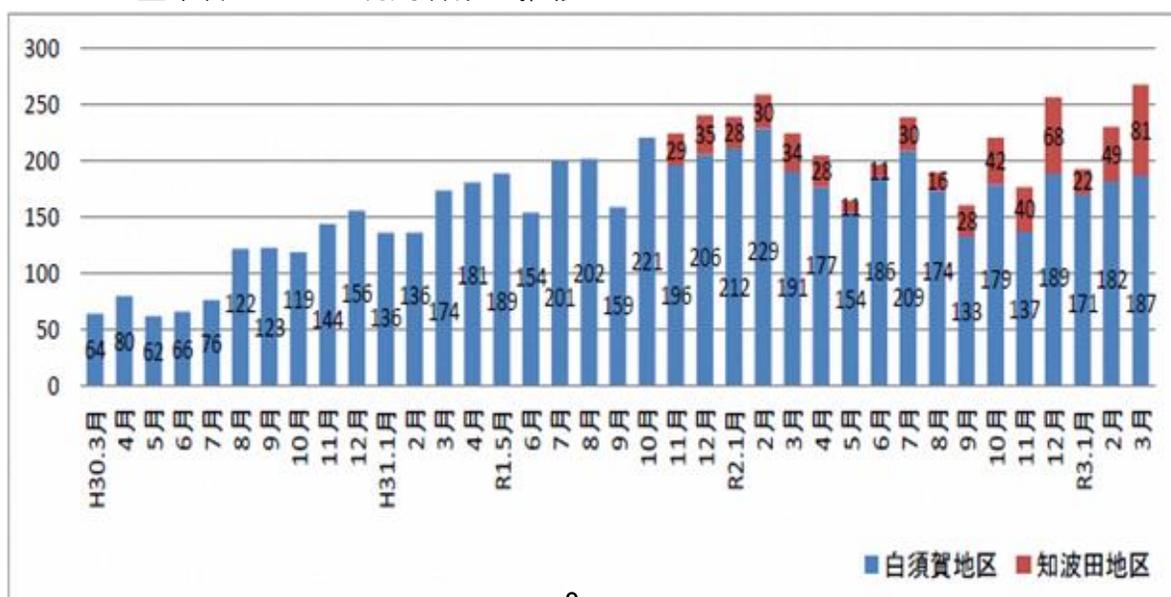
出典：平成27年国勢調査

⑤ コーちゃんバス利用者数の推移

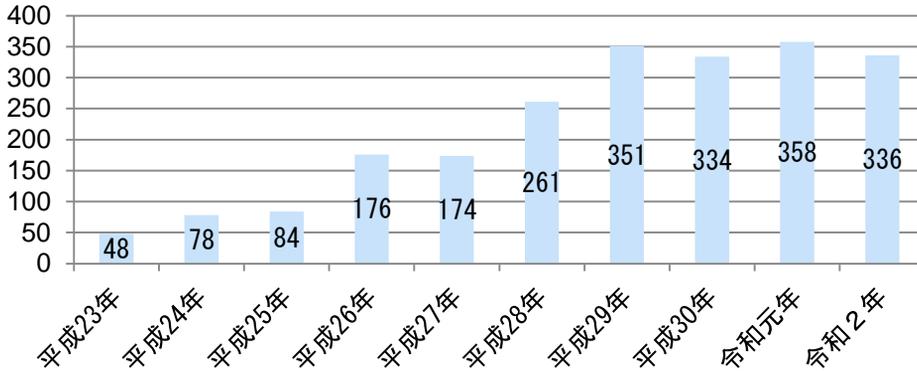


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	5,671	5,163	7,605	7,295	6,300	7,082	6,734	5,716	5,731	4,711	5,004	6,147	73,159
R1	8,941	8,457	9,175	9,631	7,782	8,746	8,503	8,081	7,992	7,276	7,234	6,633	98,451
H30	8,851	9,373	9,980	9,348	8,450	8,008	9,515	9,343	8,306	7,463	8,005	9,055	105,697
H29	6,639	6,684	7,455	6,812	6,812	7,188	7,573	7,410	6,862	6,026	6,508	7,294	83,263
H28	6,494	5,807	7,304	6,905	6,655	7,123	7,142	7,019	6,396	6,023	6,836	7,658	81,362
H27	6,673	5,855	7,524	7,210	6,188	6,299	7,300	6,502	6,623	5,992	6,579	7,201	79,946
H26	6,670	6,860	7,379	7,409	5,831	7,376	7,264	6,515	6,323	6,058	6,748	7,884	82,317
H25	7,945	7,519	7,150	7,039	5,451	6,717	7,332	6,634	5,858	6,168	6,269	6,595	80,677

⑥ デマンド型乗合タクシー利用者数の推移



⑦ 高齢者運転免許返納状況の推移（70歳以上、湖西警察署の返納状況）



出典：湖西警察署「犯罪と交通事故のあらまし」

⑧ 原付以上運転者（第1当事者）の年齢層別免許保有者10万人当たり交通事故件数の推移【全国】

年齢層	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	免許保有者数 (令和2年末)		
	(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(人)	構成率	
15歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	...	-
16～19歳	2,381.0	2,296.3	2,272.3	2,189.5	2,057.0	1,888.8	1,822.2	1,649.9	1,489.2	1,251.4	1,075.4	854,129	1.0	
20～24歳	1,466.5	1,399.7	1,390.3	1,325.9	1,202.9	1,144.9	1,070.1	979.7	876.9	754.5	595.5	4,662,129	5.7	
25～29歳	1,014.8	992.3	983.9	932.3	866.4	814.1	752.7	697.4	624.0	528.0	420.6	5,359,236	6.5	
30～34歳	804.1	771.2	750.1	713.2	649.4	616.7	581.6	541.1	487.5	424.9	335.1	5,953,512	7.3	
35～39歳	756.2	725.4	703.5	658.8	597.4	554.7	512.7	486.1	433.7	380.0	308.2	6,937,529	8.5	
40～44歳	752.7	695.7	681.6	644.6	591.2	547.8	514.6	476.4	432.2	371.9	299.7	7,894,480	9.6	
45～49歳	702.6	686.4	640.8	612.7	564.3	528.7	482.9	474.4	431.7	381.7	308.8	9,234,566	11.3	
50～54歳	702.5	663.7	629.3	591.3	530.0	497.8	475.2	450.5	414.0	375.1	307.7	8,153,558	9.9	
55～59歳	745.9	702.1	657.7	609.3	551.1	516.6	472.3	446.5	415.6	367.9	300.5	7,319,255	8.9	
60～64歳	731.9	707.5	676.9	635.8	569.4	522.8	481.9	461.4	426.4	378.3	310.2	6,543,373	8.0	
65～69歳	780.5	721.5	647.4	609.7	545.9	510.5	488.9	478.4	438.4	399.1	313.4	6,628,330	8.1	
70～74歳	803.8	750.5	711.1	650.0	604.9	597.6	545.4	497.6	458.6	413.3	336.1	6,545,104	8.0	
75～79歳	921.4	869.3	824.0	792.9	721.2	662.0	600.8	581.8	533.3	495.1	418.8	3,477,195	4.2	
80～84歳	994.5	977.1	881.2	843.8	800.1	740.0	683.8	630.5	604.5	546.7	440.9	1,758,903	2.1	
85歳以上	999.7	1,001.6	969.1	895.1	854.3	811.3	744.1	712.2	645.9	616.0	522.4	668,588	0.8	
合計	849.2	807.7	774.0	728.9	663.1	620.9	577.5	543.5	494.1	435.5	352.5	81,989,887	100.0	

(再掲)

16～24歳	1,626.0	1,555.7	1,544.4	1,479.3	1,348.9	1,271.3	1,194.9	1,089.2	973.1	832.1	669.8	5,516,258	6.7
65歳以上	833.7	784.4	724.9	679.5	621.5	588.0	547.9	523.1	483.3	441.9	359.5	19,078,120	23.3
70歳以上	874.1	828.9	781.0	731.0	678.8	650.1	595.7	555.6	512.4	466.6	384.0	12,449,790	15.2
75歳以上	949.1	912.2	854.0	818.3	758.9	701.8	641.3	610.7	566.4	522.8	437.1	5,904,686	7.2
80歳以上	995.7	983.0	902.4	856.9	814.5	759.0	700.1	652.3	615.7	565.6	463.4	2,427,491	3.0

注1 増減数(率)は、前年同期と比較した値である。

2 指数は、平成22年を100としたものである。

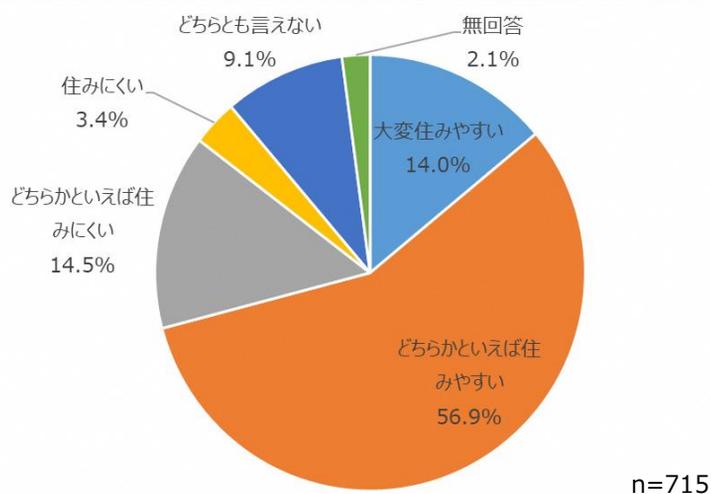
3 算出に用いた免許保有者数は、各年の12月末現在の値である。

4 「原付以上運転者」とは、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車の運転者をいう。

5 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した事故当事者のうち最も過失の重い者をいう。

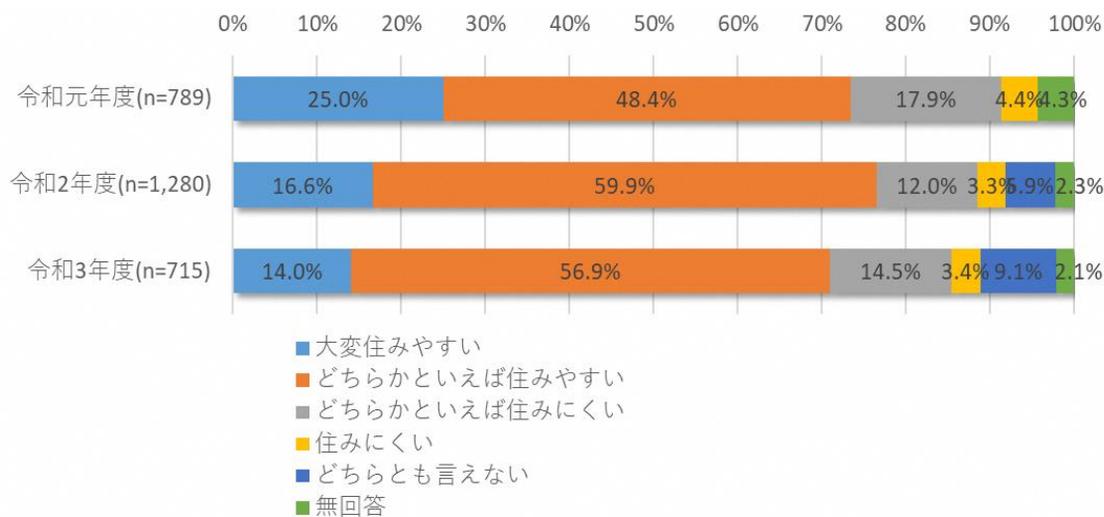
⑨ 令和3年度市民意識調査の結果

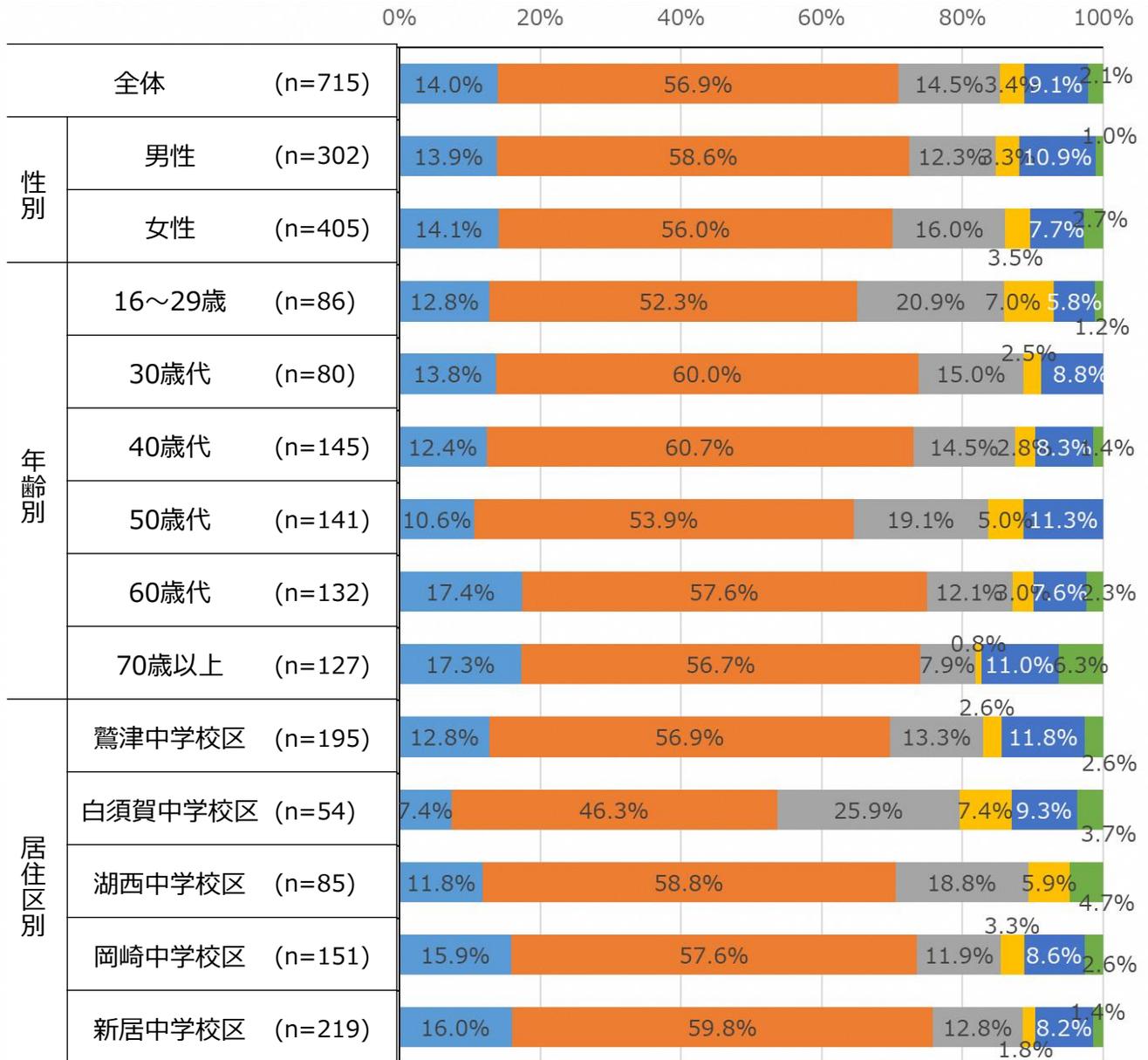
■「大変住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』は70.9%。



■時系列

令和2年度調査と比較すると「大変住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』は5.6ポイント低下した。





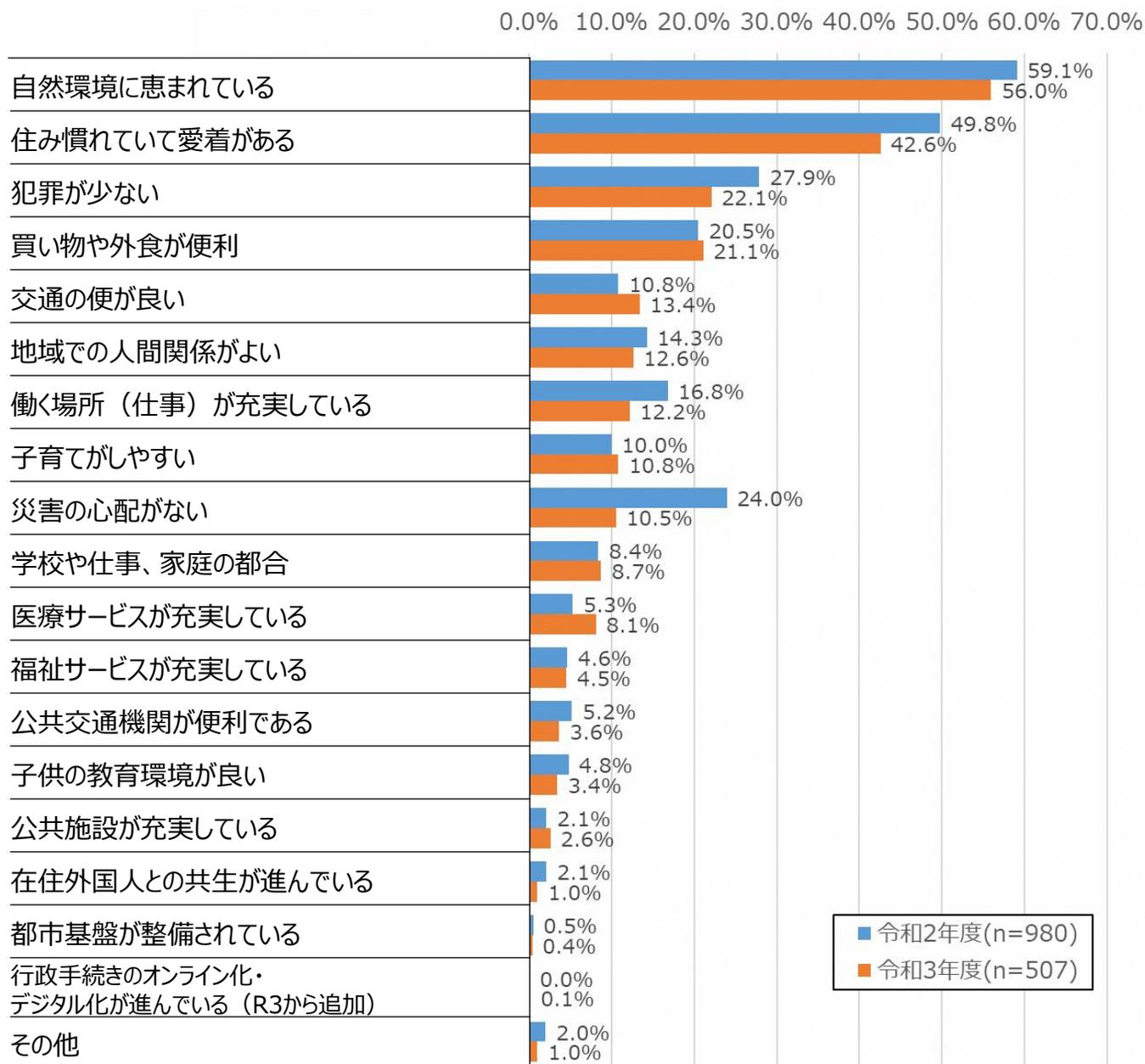
- 大変住みやすい
- どちらかといえば住みやすい
- どちらかといえば住みにくい
- 住みにくい
- どちらとも言えない
- 無回答

■ 住みやすい理由

住みやすいと回答した方を対象に3つまで選択。

自然環境に恵まれているが56.0%と最も高い。

公共交通機関については「便利である」との評価が3.6%と低くなっている

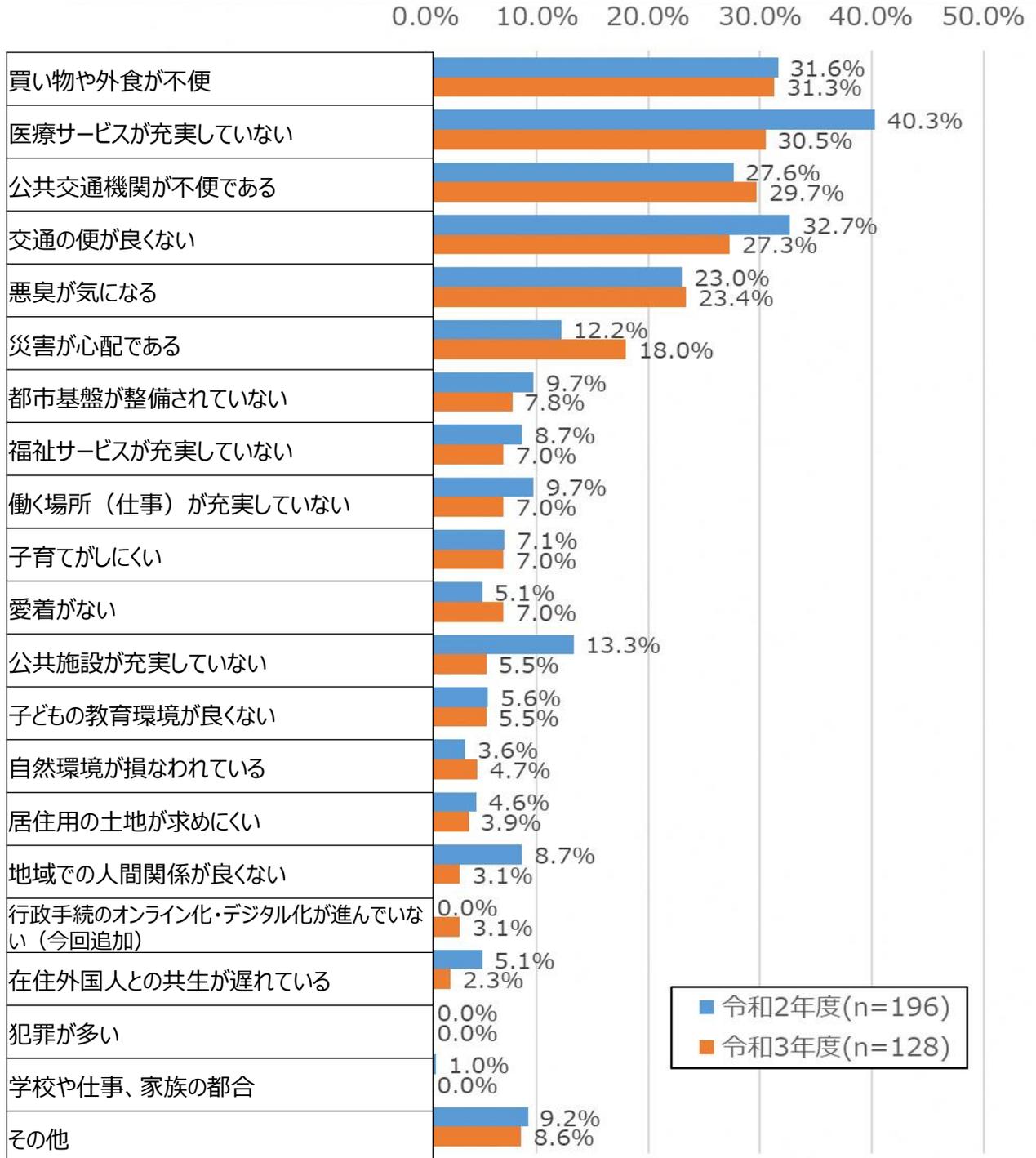


■住みにくい理由

住みにくいと回答した方を対象に3つまで選択。

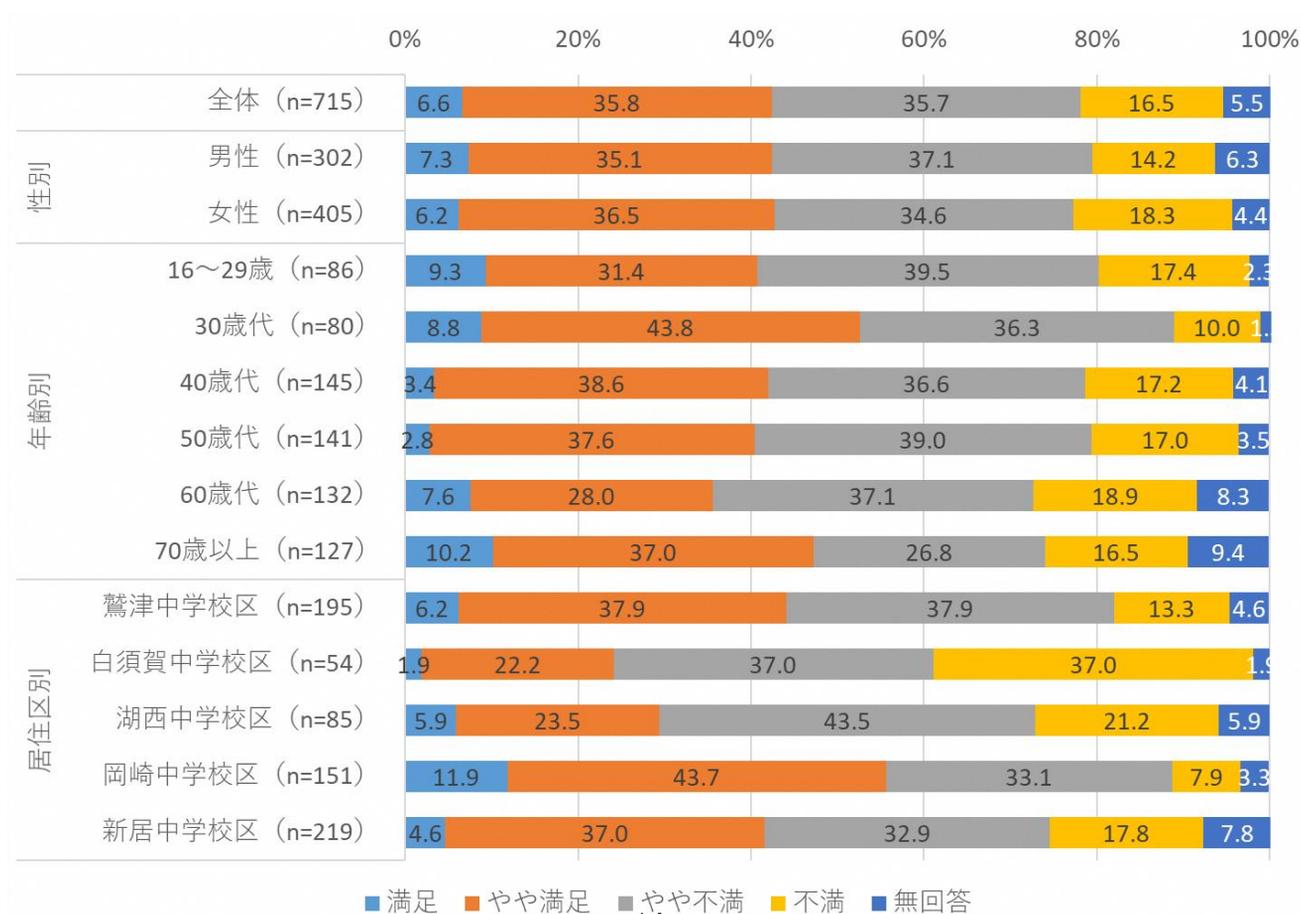
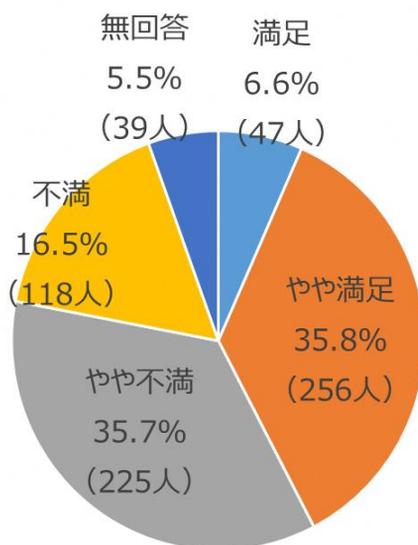
R3では買い物や外食が不便が最も多い

公共交通機関については不便であるとの評価が29.7%と高くなっている



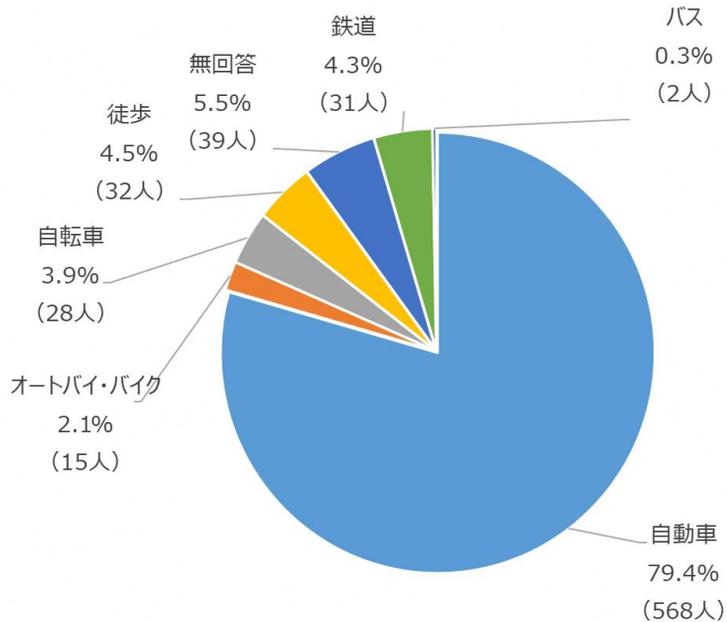
■公共交通の満足度評価

湖西市の公共交通に関する満足度は低く、「満足」と「やや満足」をあわせた『満足』は42.4%に留まる。



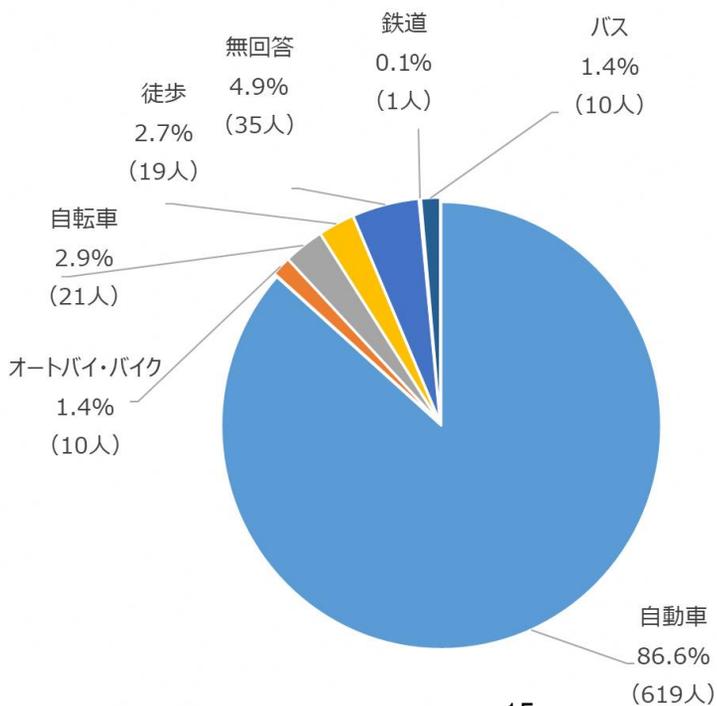
■ 平日の利用交通手段

平日の利用交通手段では自動車が高く、79.4%を占める。



■ 休日の利用交通手段

休日の利用交通手段では平日よりも自動車の割合が高く、86.6%を占める。



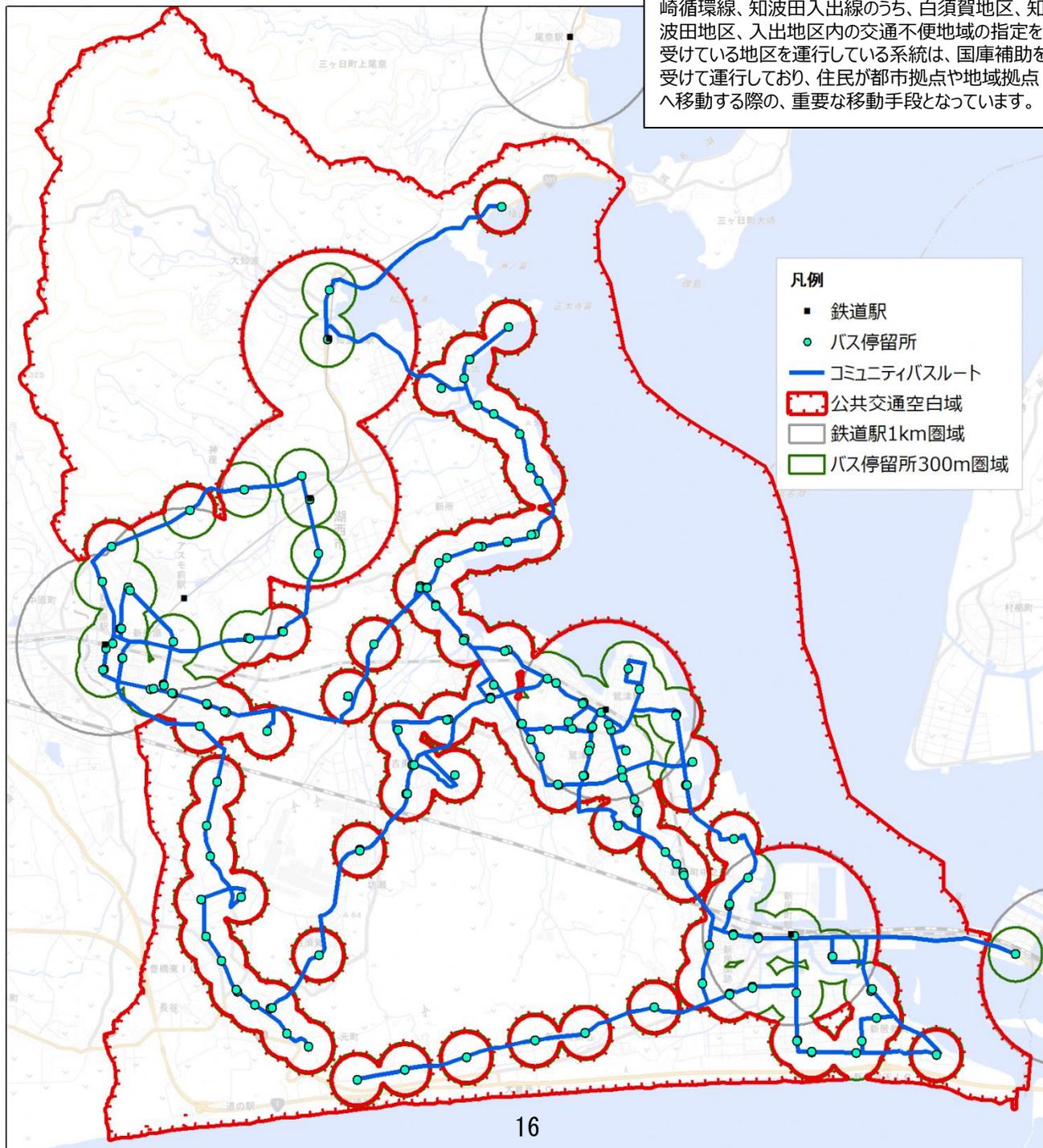
2. 公共交通の現状

【地域公共交通ネットワーク】※令和3年3月時点

公共交通の利用圏域を鉄道駅から1km、バス停から300mとした場合、公共交通空白域が市内に広くみられます。

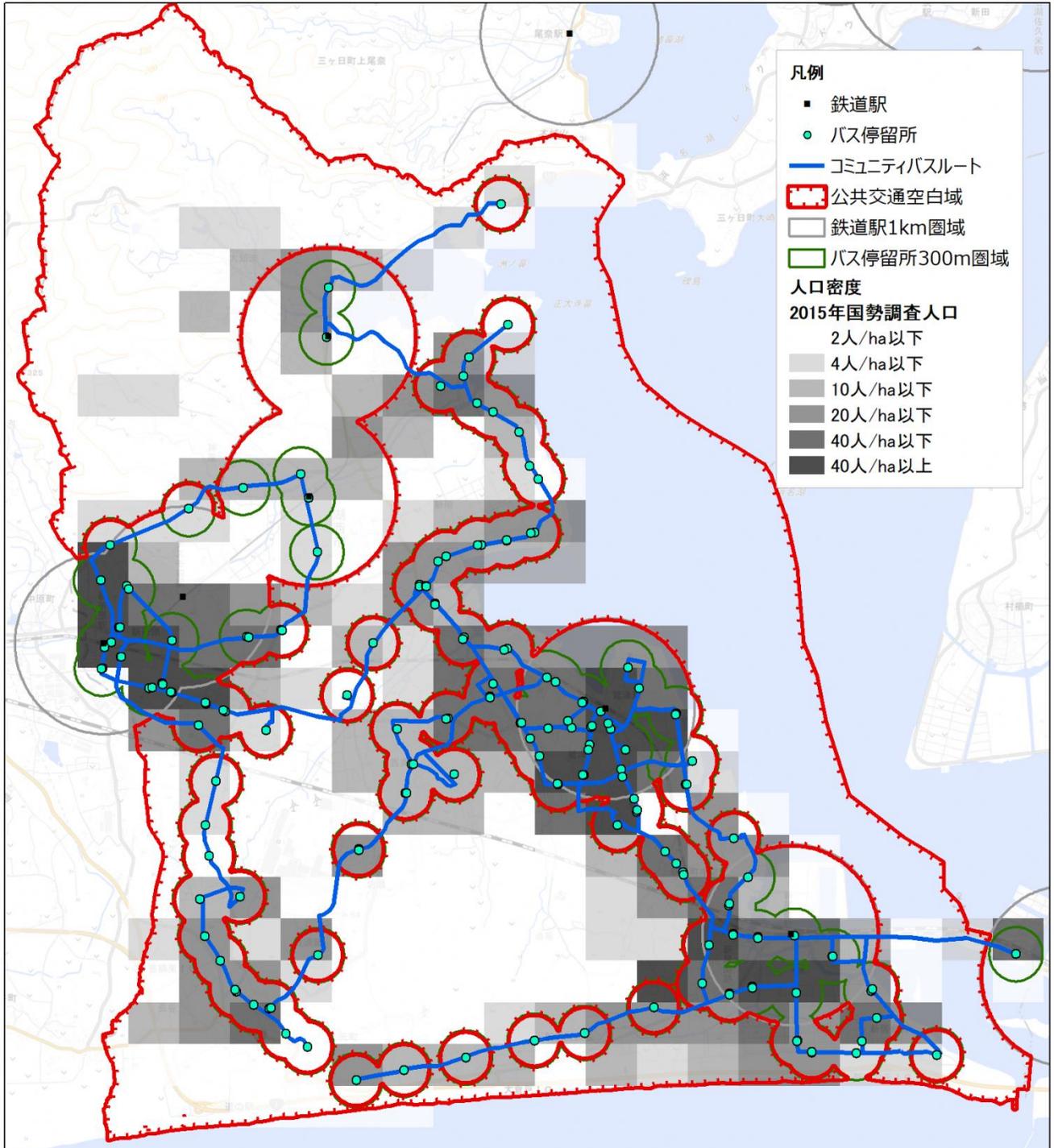
◇コーちゃんバスの国庫補助対象路線について

新居鷺津線、白須賀鷺津線、白須賀岡崎線、岡崎循環線、知波田入出線のうち、白須賀地区、知波田地区、入出地区内の交通不便地域の指定を受けている地区を運行している系統は、国庫補助を受けて運行しており、住民が都市拠点や地域拠点へ移動する際の、重要な移動手段となっています。



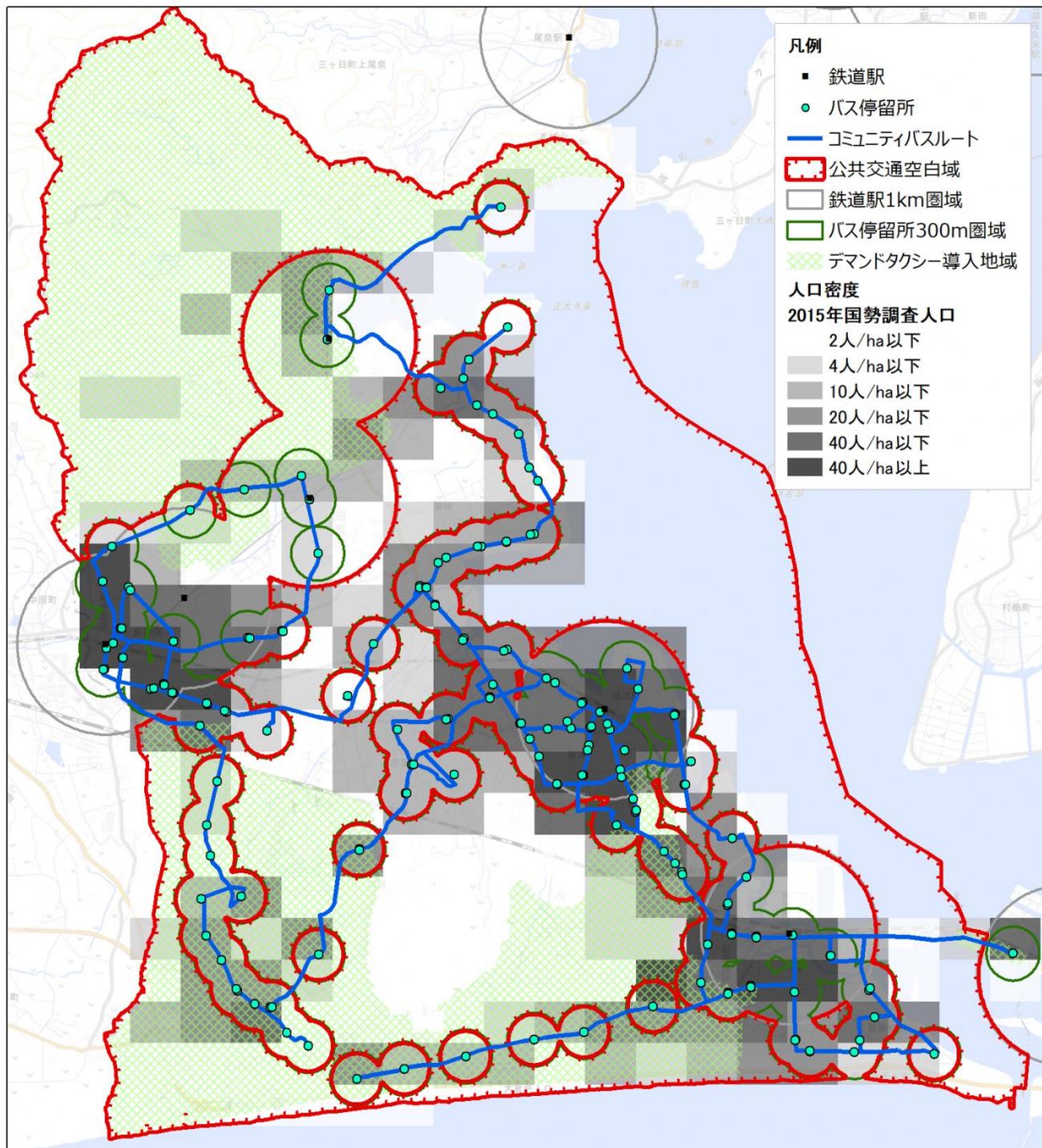
【公共交通空白域の人口密度分布】

人口密度が高い地域は概ねカバーしていますが、交通空白域でも人口が密度20人/ha以下のエリアが見られます。



【デマンド交通を含めた地域公共交通】

市内で導入されているデマンドタクシーの利用可能地区を重ねると、一部の地域でデマンドでもカバーされていない地域が残ります。



① 鉄道

JR東海道本線

市内には鷺津駅、新所原駅、新居町駅の3つの駅があり、東に位置する浜松市と西に位置する愛知県豊橋市を結び、市内を東西に横断する形で運行をしています。市内外からの通勤・通学などの日常生活に利用されており、新所原駅は、年間約150万人に利用されています。



天竜浜名湖線

市内に新所原駅、アスモ前駅、大森駅、知波田駅の4つの駅があり、浜名湖の北部を経て掛川駅まで運行しています。経路には、浜松市、磐田市、袋井市、森町、掛川市があり、市内外からの通勤・通学などの日常生活や静岡県の西の玄関口として観光客に利用されており、新所原駅は、乗車、降車ともに年間約12万人に利用されています。



② タクシー

本市では、鷺津駅を中心にJR各駅にタクシーの待機所があり、1社のタクシー事業者が運行しています。主に高齢者の通院、買い物や市内事業所への出張者などに利用されています。



③ コミュニティバス「コーちゃんバス」

コーちゃんバスは、平成25年4月から運行を開始し、現在6台7路線で運行しています。運賃は、市内全域一律運賃（200円）であり、平成29年4月から運転免許証の自主返納をされた方に2年間の無料乗車券を交付しています。また、運行経路は、都市拠点である鷺津地区を中心に地域拠点の岡崎地区、新居地区、集落拠点の知波田地区、白須賀地区を結ぶ路線が設けられており、市民の通院や買い物などの日常生活に利用されており、コロナ禍前までは、年間約10万人に利用されています。



④ デマンド型乗合タクシー

平成30年3月より自宅と指定施設を結ぶ新たな送迎手段として白須賀地区で運行を開始しました。現在、知波田地区、新居地区を追加した市内3地区で運行しています。また、令和2年10月より利用者の費用負担の軽減や乗合率の向上、運行の効率化を目的に乗合割引を導入しています。



⑤ B a a S 事業（実証実験中）

令和2年度より市内を運行する企業シャトルバスという地域資源を有効活用し、自家用有償旅客運送で市民も利用可能な企業シャトルバスを運行する実証実験を開始しました。官民連携による新たなモビリティサービスとして令和3年度も鷺津地区と岡崎地区で引き続き実証実験を実施し、社会実装を目指しています。



3. 公共交通を取り巻く課題

① 行きたい時間に行きたい場所に行けない

・コミュニティバスは、運行開始以降、より多くの人に利用してもらうための見直しを行ってきました。その結果、運行経路が長大となり目的地までより多くの時間を要するサービスとなっています。また、各路線を1台で運行しており、すべての人の目的に合致したダイヤの設定ができないことで利便性が低下し、交通空白時間（バス停はあるが、ダイヤにより公共交通を利用できない時間帯）が存在するなど課題が残ります。

② 高齢ドライバーの増加に伴う交通事故件数の増加

・全国的な課題として、超高齢社会を迎え、2040年には人口層の厚い年代である団塊の世代、団塊ジュニア世代が高齢者となり高齢化のピークを迎えます。本市においては、代表交通手段が自動車である市民の割合が非常に高く（湖西市68.6%、全国45.0%）、高齢の免許保有者が、より増加する可能性があります。また、10万人当たりの交通事故件数は高齢になるほど増加する傾向にあるため、高齢ドライバーによる事故件数もより増加する可能性があります。

③ 高齢者人口の増加に対応した公共交通サービスの充実

・高齢者人口の増加に伴い、利用ニーズの増加や多様化が予想されます。これらに応じた公共交通サービスの提供が必要になります。

④ 移動手段として公共交通の優先順位が低い

・公共交通分担率が4.2%（全国平均19.1%）、代表交通手段が自動車である市民が68.6%（全国平均45.0%）と自動車に依存した状況となっています。要因としては、利便性の低さが考えられます。

⑤ 時刻表などの見方が難しい（利用したいが利用できない）

・コミュニティバスの運行経路が長大化することやダイヤの複雑化により、初めて利用する人や高齢者にとってわかりづらいサービスとなっています。

⑥ 限られた財源の有効活用と公共交通サービスの効率化

・コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行には、年間7,000万円から8,000万円程度の経費がかかっています。2040年には、人口層の厚い年代である団塊の世代、団塊ジュニア世代が高齢者となり、高齢化のピークを迎え、人口の減少と少子高齢化は市政運営に様々な影響を及ぼすと予測されます。このような状況の中でも市民が不自由なく暮らせるまちであるために、サービス水準の向上と運行の効率化を両立させる必要があります。

第3章 基本計画

1. 計画の基本方針

第6次湖西市総合計画では、2040年の湖西市の理想の姿として、以下の4つのまちの姿を掲げています。

1. 安心して暮らすことができるまち
2. 結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまち
3. 稼ぐ力に満ち、安心して働けるまち
4. 新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

公共交通は、市民の生活や活動を支える社会基盤であり、理想の姿を実現するために必要不可欠なものです。

上位計画や関連計画で求められる役割等を踏まえ、鉄道、バス、タクシーなどの地域の輸送手段を総動員し、多様化するニーズに対応することで・・・



※MaaSとは・・・Mobility as a Serviceの略称

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済などを一括で行うサービス

2. 計画の目標

計画の基本方針に基づき、「湖西市地域公共交通計画」の目標として以下の3つを設定します。

【目標1】安心して暮らせる公共交通サービスへ

- ・高齢ドライバーが免許返納しても外出できる公共交通サービスの提供と啓発
- ・デマンド型乗合タクシーの運行エリア拡大によるラストワンマイル問題の解消
- ・MaaSによる移動手段選択の最適化や地域資源の活用により様々な移動手段を提供し、利便性を向上

【目標2】魅力ある公共交通サービスへ

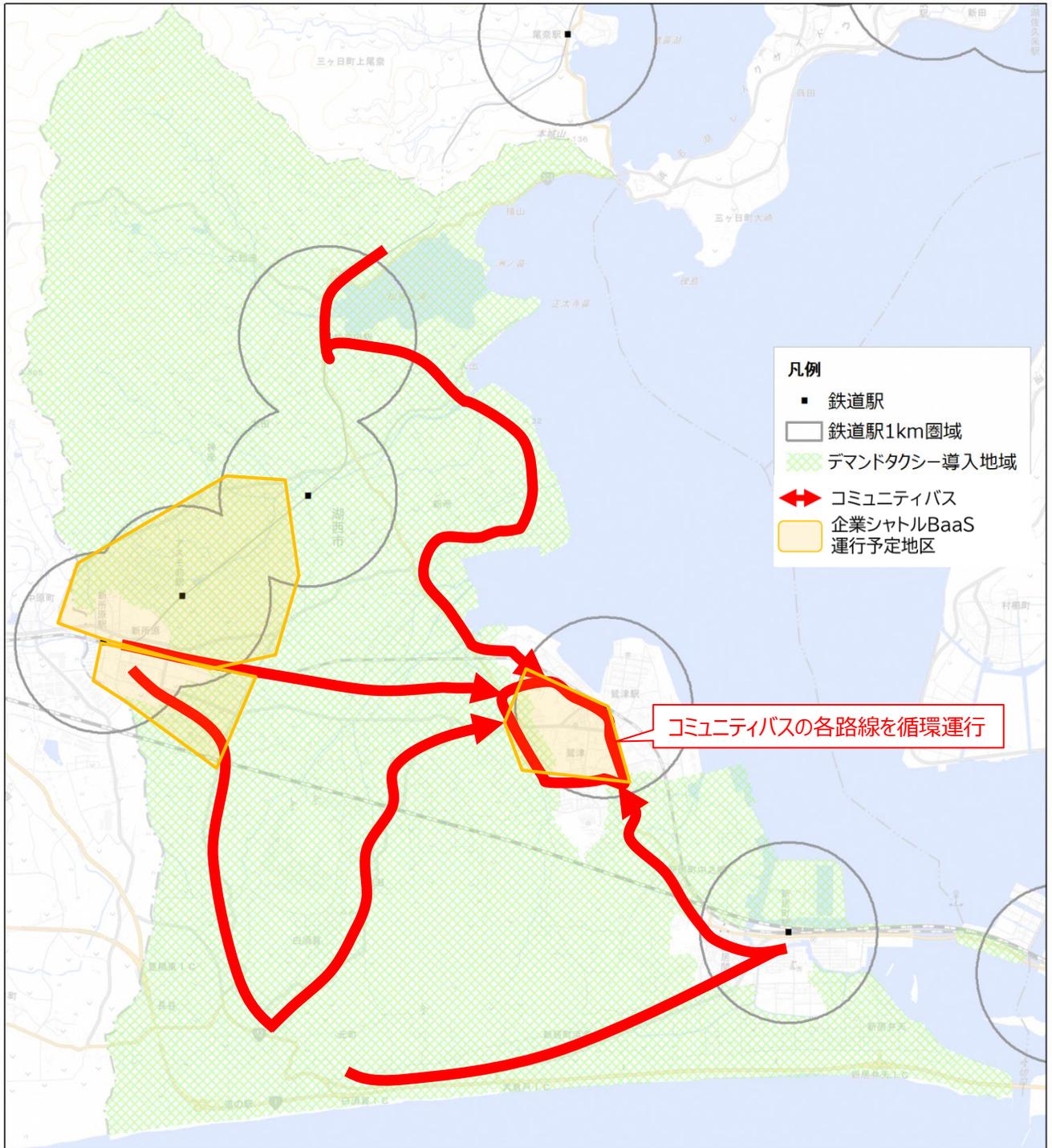
- ・公共交通サービスを認識し、利用してもらうため情報発信
- ・時間や乗り継ぎ案内の方法を見直し、利用者にとって分かりやすく、利用しやすいサービスへ
- ・様々な事業と連携した付加価値の創出へ
- ・コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーなど多様な公共交通サービスを利用者が選択できる環境を構築することで、魅力と利便性が両立した公共交通網を構築

【目標3】持続可能な公共交通サービスへ

- ・交通事業者と連携した担い手の確保
- ・都市拠点と地域拠点、主要集落エリアを結ぶ経路、ダイヤの見直しによる効率化と利便性の向上

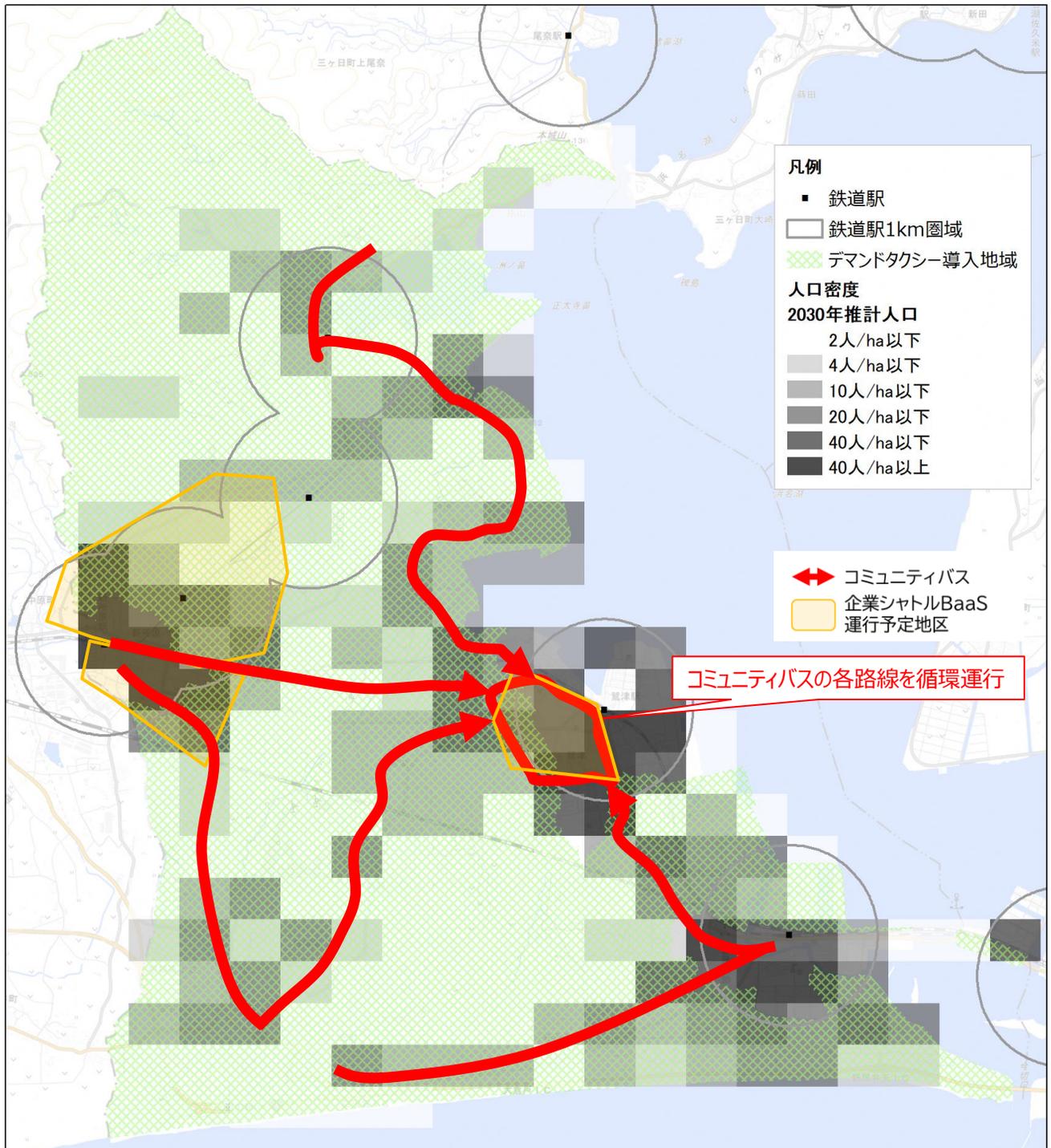
3. 公共交通の将来像

デマンド型乗合タクシーの市内全域拡大（一部除く）に伴い、令和7年度に向けてコーちゃんバス路線は、路線数、経路、ダイヤの見直しを行います。また、企業シャトルBaaSの社会実装と併せ、利便性の向上や効率化を図っていきます。



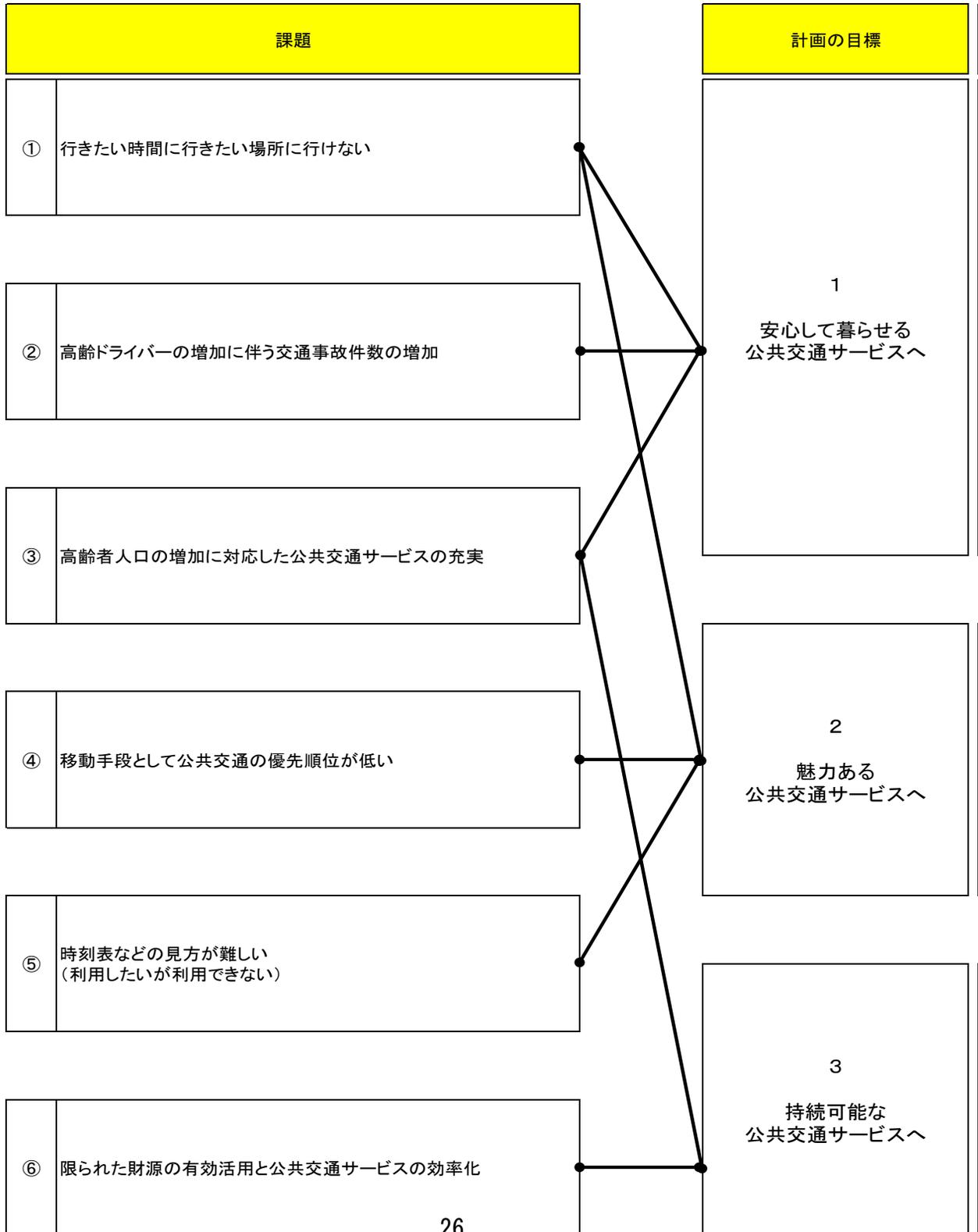
【将来の地域公共交通体系】

2030年推計人口からみると、概ね人口集積のある地域は公共交通網でカバーされます。



第4章 目標を達成するための事業

1. 体系図



個別事業	実施主体	事業の実施スケジュール			
		R4	R5	R6	R7
1-1 公共交通軸の維持(JR東海道本線)	交通事業者 湖西市	○	○	○	○
1-2 公共交通軸の維持(天竜浜名湖線)	交通事業者 湖西市	○	○	○	○
1-3 デマンド型乗合タクシーの市内全域化	湖西市	○	○	○	○
1-4 湖西市企業シャトルBaaSの社会実装	湖西市		○	○	○
1-5 バス停付近におけるバス利用者の自転車駐輪場の確保	湖西市		○	○	○
1-6 免許返納者への優遇措置	湖西市		○	○	○
1-7 高齢者バス・タクシー利用料金助成	湖西市	○	○	○	○

2-1 市内事業者と連携した付加価値の創出	湖西市	○	○	○	○
2-2 ふじのくにCOOLチャレンジポとの連携	湖西市	○	○	○	○
2-3 利用モデルの作成と周知・啓発の強化	湖西市	○	○	○	○
2-4 夏休み小学生50円バスや乗り方教室の実施	湖西市 交通事業者	○	○	○	○

3-1 交通事業者と連携した運転手等の人材確保	交通事業者 湖西市	○	○	○	○
3-2 デマンド型乗合タクシーの乗合割引の導入	湖西市	○	○	○	○
3-3 コーちゃんバス路線の見直し	湖西市 交通事業者	○	○	○	○
3-4 鷺津地区におけるコーちゃんバスの利便性向上	湖西市			○	○

2. 個別事業

計画の目標を達成するために実施する個別事業は次のとおりです。

目標1 安心して暮らせる公共交通サービスへ

- 自家用車は非常に便利な移動手段であり、日常生活で使用している方にとって、簡単に手放せない移動手段です。一方で高齢により免許を返納した方や学生、自家用車を持たない方にとって、公共交通は必要不可欠な移動手段です。
- また、公共交通は遠方への外出で鉄道を利用する際の駅までの移動手段や自家用車が使用できない時の移動手段など、普段は利用しなくても、安心して暮らすために欠かせないものでもあります。
- 人口減少と少子高齢化が進む中で、公共交通ネットワークを維持するとともに、各種サービスやMaaSの導入により利便性を向上することで「市民が安心して暮らすことができるまち」を実現します。

成果指標	基準値 (R3)	目標値 (R7)
70歳以上の市民の公共交通に対する満足度	47.2%	67.0%

1-1 公共交通軸の維持（JR東海道本線）

【事業概要】

- 市内に鷲津駅、新所原駅、新居町駅の3つの駅があり、東に位置する浜松市と西に位置する愛知県豊橋市を結び、市内を東西に横断する形で運行しています。
- 総合交通マップへの運行時刻の掲載など、利用啓発を図ります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
公共交通軸の維持	○	○	○	○
総合交通マップへ運行時刻を掲載	○	○	○	○

【実施主体】

交通事業者、湖西市

1-2 公共交通軸の維持（天竜浜名湖線）

【事業概要】

- 市内に新所原駅、アスモ前駅、大森駅、知波田駅の4つの駅があり、浜名湖の北部を経て掛川駅まで運行しています。
- 総合交通マップへの運行時刻の掲載など、利用啓発を図るとともに、沿線市町と連携して利用促進事業を実施します。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
公共交通軸の維持	○	○	○	○
総合交通マップへ運行時刻を掲載	○	○	○	○
天竜浜名湖線市町会議と連携した利用促進事業の実施	○	○	○	○

【実施主体】

交通事業者、湖西市

1-3 デマンド型乗合タクシーの市内全域化

【事業概要】

- 平成30年3月より白須賀地区の一部で実証実験を開始し、平成30年8月に白須賀地区全域へ拡大しました。（令和2年4月より本格運行）
- 令和元年11月より知波田地区にて実証実験を開始しました。
- 令和4年4月よりJR駅付近を除く市内全域へ対象地区を拡大するとともに全5地区で本格運行を開始します。
- 自宅間からバス停まで移動が困難な方の移動手段の確保や公共交通空白域のカバーを目的に自宅から指定施設、指定施設から自宅への移動手段として市内全域化を目指します。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
		○	○	○

JR駅周辺を除く地区に利用可能エリアを拡大することで、高齢者を中心とした買い物、通院時の移動手段の確保、免許返納の促進を図る。

また、利用実績等を考慮し、JR駅付近の拡大について検討を進める。

【実施主体】

湖西市

【KPI】

内 容	基準値 (R2)	目標値 (R6)
デマンド型乗合タクシー利用者数	2,506人	10,774人

※算出方法

全地区のデマンド型乗合タクシー利用者数の合計（年度）

1-4 湖西市企業シャトルBaaSの社会実装

【事業概要】

- 令和2年度に経済産業省が行う「地域新MaaS創出推進事業」の先進パイロット地域に選定され、鷺津駅周辺地区、新所原駅周辺地区にて令和2年11月から12月にかけて実証実験を実施しました。

※当初2ヶ月間の予定であったがコロナ禍により1ヶ月間へ。

- 協力企業と連携を図りながら、新たな移動手段として社会実装を目指します。



【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
	企業シャトルバスを活用した有償旅客運送による移動サービスと公共交通の行動変容を促す消費喚起誘導をMaaSを活用して推進する。		○	○

【実施主体】

湖西市

【KPI】

内容	基準値 (R2)	目標値 (R6)
企業シャトルBaaS利用者数	248人	1,000人

※算出方法

湖西市企業シャトルBaaS（協力企業のシャトルバス）を利用した市民の数
（年度）

1-5 バス停付近におけるバス利用者の自転車駐輪場の確保

【事業概要】

- バス利用者のバス停までの移動手段は、徒歩が主なものになります。これによりバス停までの距離が遠い方はバス利用が困難となります。
- 現状、鷲津駅や新所原駅など一部のバス停付近に限られているバス利用者が利用できる駐輪場を他のバス停にも増やすことで、新たな利用者の確保や利便性の向上、利用促進を図ります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
		○	○	○

バス利用者が、バス停付近まで自転車で移動し、バスに乗車できるように、バス停付近の公共施設や市内事業者など、駐輪可能施設の増加を目指す。

また、チラシ等に駐車可能な施設を掲載し、周知するとともに、協力事業者の紹介を行うことで市内での消費喚起を促す。

【実施主体】

湖西市

【KPI】

内 容	基準値 (R2)	目標値 (R6)
周知を行った利用可能な駐輪場の数	0箇所	10箇所

※算出方法

市ウェブサイトや広報、SNS、チラシ等で、周知を行った駐輪可能施設の数
(年度)

1-6 免許返納者への優遇措置

【事業概要】

- 平成29年4月から公共交通の利用促進を図ることを目的に、運転免許証を自主返納された方を対象に2年間の無料乗車券を交付しています。
- 無料乗車券の利用者や交付申請者は、毎年減少傾向にあります。
平成30年9月末 申請者数318人（利用者数7,528人）
令和3年9月末 申請者数126人（利用者数3,381人）



【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
		○	○	○

免許返納者の外出機会の維持や免許返納の促進に対してより効果的な事業と
するため、運賃の割引など優遇措置内容について見直しを行う。

【実施主体】

湖西市

1-7 高齢者バス・タクシー利用料金助成

【事業概要】

- 平成25年4月から75歳以上の高齢者を対象に、買い物、通院などの利便性の確保と社会活動への参加の促進に貢献するため、バス・タクシーの利用料金の一部を助成する事業を実施する。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
	○	○	○	○

免許返納者への案内など窓口における制度の周知を行うとともに、公共交通
の利用促進を図る。

【実施主体】

湖西市

目標2 魅力ある公共交通サービスへ

- 公共交通ネットワークを維持、改善することに併せて、公共交通サービスの存在を市民が認識し、日常生活の中で利用していただくことが重要です。
- そのためには、公共交通の利用方法として、乗り方をはじめ、乗り継ぎの方法、所要時間、目的地までの行き方など、多くの視点、多くの方法で情報発信を行う必要があります。
- また、既存の公共交通サービスのみではなく、様々な事業、業種と連携することで付加価値を創出し、利用したくなる、魅力ある公共交通サービスを目指します。

成果指標	基準値 (R2)	目標値 (R6)
市民1人あたりの公共交通年間利用回数	1.28 回/人	1.58 回/人

2-1 市内事業者と連携した付加価値の創出

【事業概要】

- 商業施設や飲食店、医療機関など、移動の目的となる場所と連携し、公共交通と買い物、公共交通と通院など、それぞれの利用促進に繋がる事業を検討します。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
商業施設や飲食店、医療機関などを利用した方に対する運賃割引制度の導入や公共交通を利用した方に対する事業者によるサービスなど、それぞれの利用促進に繋がる仕組みについて検討するとともに、協力可能な事業者を募る。	○	○	○	○

【実施主体】

湖西市



2-2 ふじのくにCOOLチャレンジクルポとの連携

【事業概要】

- 地球温暖化の自主的な取り組みを促進するために静岡県が実施している「ふじのくにCOOLチャレンジクルポ」と連携し、地球温暖化防止に取り組むとともに、公共交通が身近な脱炭素への行動の1つであることの周知と利用促進を図ります。

事業内容	R4	R5	R6	R7
「ふじのくにCOOLチャレンジクルポ」のポイントスポットとしてコーちゃんバスを登録するとともに車内や市ウェブサイト、SNS等で情報発信することで、バスの利用促進を図る。	○	○	○	○

【実施主体】

湖西市



2-3 利用モデルの作成と周知・啓発の強化

【事業概要】

- 令和3年3月に市内中学校3年生に向けて高校への通学、通勤等を考慮したコーちゃんバスの利用モデルを掲載した啓発チラシの配布とSNSサービスである市公式LINEページ及びJR新所原駅のデジタルサイネージにてコーちゃんバスの情報を発信しました。
- 令和3年9月に市内各地区毎に通院や買い物等を考慮したコーちゃんバスの利用モデルを掲載した啓発チラシの配布と市公式LINEページで情報を発信しました。
- 買い物や通院、通学など、目的に応じた利用モデルを様々な手段で定期的に情報発信することで、行き方がわからない、時刻表の見方が難しいなどの課題を解決し、利用者数の増加を図ります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
		○	○	○

各地区毎にさまざまな利用モデル等を掲載した啓発チラシを四半期毎に配布する。また、SNSサービス等を活用し、情報を発信することで、誰もが選択できる移動手段の1つとして認識してもらうことで、利用促進を図る。

【実施主体】

湖西市



【KPI】

内 容	基準値 (R2)	目標値 (R6)
啓発チラシやSNSサービスを活用した情報発信回数	3回	14回

※算出方法

全戸配布による啓発チラシの配布回数、市公式LINEサービス、新所原駅デジタルサイネージによる情報発信回数の合計（年度）

2-4 夏休み小学生50円バスや乗り方教室の実施

【事業概要】

- 平成25年度よりバスの利用促進策、公共交通について考えるきっかけづくりのために、夏休み期間中は小学生が1乗車50円で利用できる特別運賃割引「夏休み小学生50円バス」を開始しました。
- 愛知県の東三河でも同様の取り組みが実施されており、双方のチラシに情報を掲載するなど、県を跨いだ連携を行っています。
- また、平成29年度よりバスに関心を持ってもらい、身近にある公共交通について考える機会とするために小学2年生を対象とした「コーちゃんバス乗り方教室」を市内各小学校と連携して開始しました。
- これらの事業により幼少期より公共交通について触れてもらい、身近な移動手段の1つとして認識してもらうことで、利用啓発を図ります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
		○	○	○

「夏休み小学生50円バス」や「コーちゃんバス乗り方教室」を継続して実施する。

【実施主体】

湖西市、交通事業者



【KPI】

内 容	基準値 (R3)	目標値 (R6)
「夏休み小学生50円バス」の利用者数	104人	210人

※算出方法

夏休み期間中に特別運賃割引を利用した小学生の数（年度）

目標3 持続可能な公共交通サービスへ

- 高齢化や労働環境の変化に伴う若年ドライバーの減少など、他業種でも課題になっている労働力不足は、公共交通においても全国的な課題となっています。
- 運転手が確保できないことによる路線や運行車両数の減少を防ぐためにも、交通事業者と連携した担い手の確保に努める必要があります。
- また、働く世代の減少による税収の減少や高齢者の増加に伴う社会保障費の増加など、人口構造の変化により、今後も厳しい財政状況が予測されています。
- このような状況を踏まえて、バスやタクシー、その他の公共交通を総合的に捉え、見直しを行い、効率化と利便性の向上を図ることで、持続可能な公共交通サービスを目指します。

成果指標	基準値 (R2)	目標値 (R6)
コーちゃんバス、デマンド型乗合タクシーにおける収支率	10.11%	16.00%
利用者1人あたりにかかる市の負担額	1,018円	830円

3-1 交通事業者と連携した運転手等の人材確保

【事業概要】

- 全国的な運転手不足の中、市においても交通事業者と連携した採用情報の発信を行います。
- 移住・定住促進事業や女性活躍推進事業など、さまざまな角度から情報発信を行うことで、公共交通を担う運転手等の確保に努めます。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
<p>イベント時に雇用情報として運転手採用情報チラシ等を配布する。また、女性の社会進出が進む中、女性活躍推進事業を活用した女性向けの企業説明会への参加など、交通事業者と連携した運転手等の人材確保を行う。</p>	○	○	○	○

【実施主体】

交通事業者、湖西市

3-2 デマンド型乗合タクシーの乗合割引の導入

【事業概要】

- 令和2年10月より、利用促進や乗合率の向上を目的に2人以上の乗車があった際、利用料金から一定金額を割り引く制度を導入しました。
- 利用料金から値引くことで市民サービスの向上が図られるとともに、乗合率の向上は、使用車両1台に対する利用者数、運賃収入の増加に直結するため、運行の効率化や市負担額の軽減にも繋がります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
	○	○	○	○

乗合割引を継続するとともに、チラシの配架等により周知を行う。

【実施主体】

湖西市

【KPI】

内 容	基準値 (R2)	目標値 (R6)
デマンド型乗合タクシーの乗合率	1.21 人/台	1.30 人/台

※算出方法

乗合率＝利用者数／運行台数

※利用者数 全地区の利用者数合計（年度）

※運行回数 全地区の運行台数合計（年度）

3-3 コーちゃんバス路線の見直し

【事業概要】

- 平成25年4月から市内7路線でゾーン制運賃を用いて運行を開始しました。
- その後、自主運行バス浜名線のコーちゃんバスへの編入、各路線のダイヤや便数の見直しなどを経て、令和2年10月の路線再編に合わせ、料金体系をゾーン制運賃から市内全域一律運賃（均一運賃）への改定を行いました。
- コーちゃんバスの一部路線は、交通不便地域の住民等の移動手段を確保するための地域間交通ネットワークに接続する役割を担っており、地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用し、安定的な路線の確保を目指します。
- また、利用実績や利用者、交通事業者などの意見を参考に定期的に見直しを行うことで、利便性の向上、運行の効率化を図ります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

事業内容	R4	R5	R6	R7
		○	○	○

コーちゃんバスの利用実績やデマンド型乗合タクシーの対象地区、利用実績を考慮し、経路やダイヤの見直しを行うことで、利便性の向上と運行の効率化を図る。

【実施主体】

湖西市、交通事業者

【KPI】

内 容	基準値 (R2)	目標値 (R6)
コーちゃんバス1便あたりの利用者数	1,002人	1,766人

※算出方法

1便あたりの利用者数＝利用者数／運行便数

※利用者数 全路線の利用者数合計（年度）

※運行便数 全路線の1日あたりの運行便数（年度末時点の便数）

3-4 鷺津地区におけるコーちゃんバスの利便性向上

【事業概要】

- 鷺津地区には、買い物施設や医療施設などが多数あり、複数の鷺津地区内への乗り入れ路線による地区内循環や鷺津循環線により利便性の向上に努めています。
- 令和4年4月のデマンド型乗合タクシーのJR駅周辺を除く市内全域化に伴い、自宅と各施設間の移動が容易になり、利便性が向上する反面、運行経費の増加も予測されます。
- 鷺津地区における乗り入れ路線のダイヤを見直し、利便性を向上することで運行の効率化を図ります。

【今後の事業内容と実施スケジュール】

	R4	R5	R6	R7
事業内容			○	○
<p>鷺津地区内において、多くの路線が乗り入れる利点を活かし、各バス停から一定間隔でバスが発車できるような経路やダイヤの検討、調整を行う。また、他路線やJR鷺津駅での乗り継ぎ時間の短縮化を図る。</p>				

【実施主体】

湖西市

第5章 事業の評価と進行管理

1. 評価の指標

成果指標	基準値	目標値
目標1（安心して暮らせる公共交通サービスへ）	R3	R7
① 70歳以上の市民の公共交通に対する満足度	47.2%	67.0%
目標2（魅力ある公共交通サービスへ）	R2	R6
② 市民1人あたりの公共交通年間利用回数	1.28回/人	1.58回/人
目標3（持続可能な公共交通サービスへ）	R2	R6
③ 収支率	10.11%	16.00%
④ 利用者1人あたりにかかる市の負担額	1,018円	830円

【①の算出方法】・・・市民意識調査の結果より

【設問】湖西市の公共交通（東海道本線、天竜浜名湖線、コーちゃんバス、遠鉄バス浜名線、デマンド型乗合タクシー、タクシー）は、利用しやすく満足できるものですか。

【集計方法】70歳以上の回答者のうち、選択肢（満足・やや満足・やや不満・不満）から（満足、やや満足）を選んだ人の割合

【②の算出方法】・・・公共交通利用者数／住民基本台帳人口（年度）

※公共交通利用者数：コーちゃんバスとデマンド型乗合タクシーの利用者数の合計

※住民基本台帳人口：各年度3月末時点の住民基本台帳人口

【③の算出方法】・・・運賃収入／運行経費（年度）

※運賃収入：コーちゃんバスとデマンド型乗合タクシーの運賃収入の合計

※運行経費：コーちゃんバスとデマンド型乗合タクシーの運行経費の合計

【④の算出方法】・・・市の負担額／公共交通利用者数（年度）

※市の負担額：運行経費から運賃収入、国県補助金を除いた額

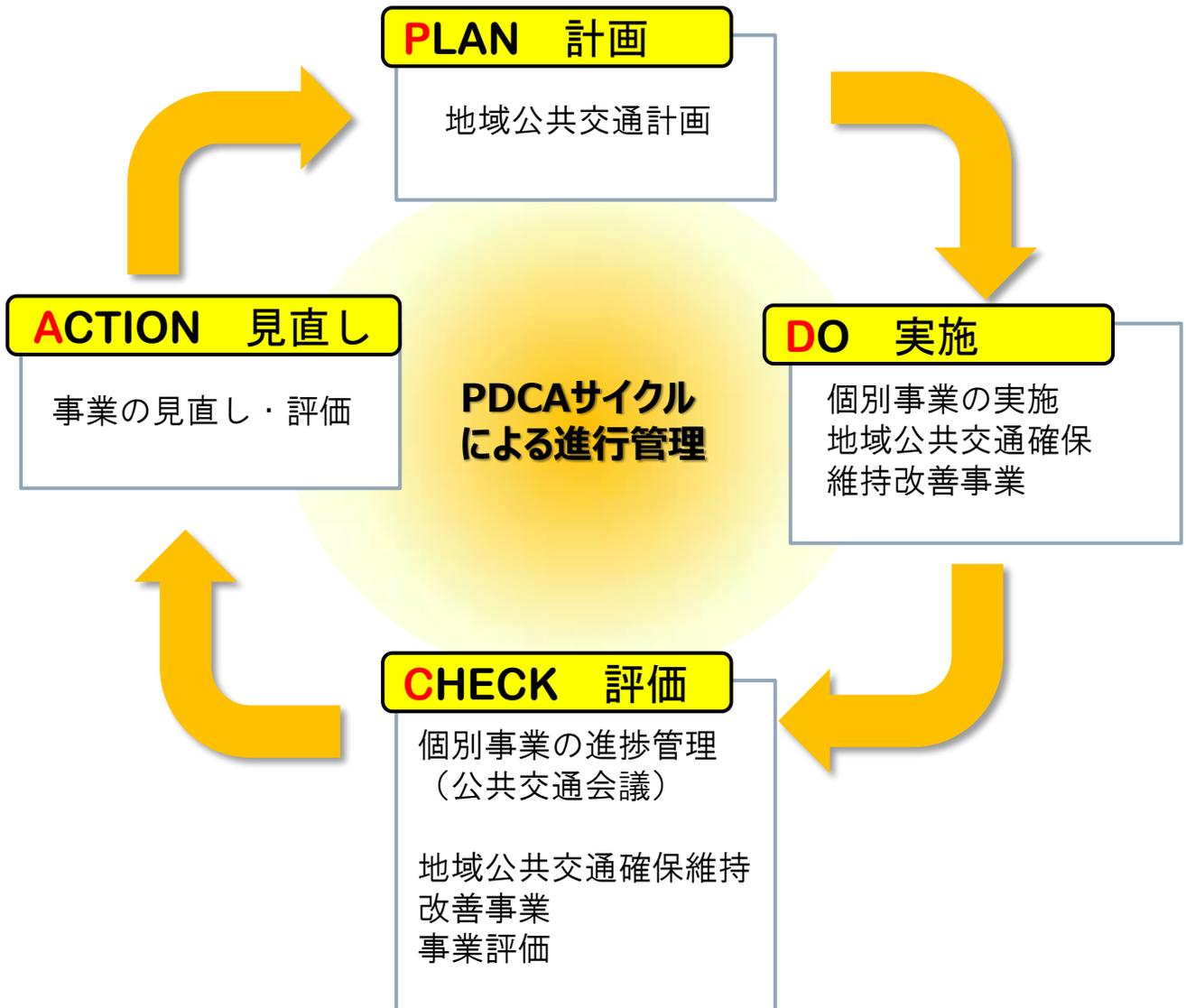
※公共交通利用者数：コーちゃんバスとデマンド型乗合タクシーの利用者数合計

個別事業のKPI	基準値	目標値
目標1（安心して暮らせる公共交通サービスへ）	R2	R6
1-3 デマンド型乗合タクシーの利用者数	2,506人	10,774人
1-4 企業シャトルBaaS利用者数	248人	1,000人
1-5 周知を行った利用可能な駐輪場の数	0カ所	10カ所
目標2（魅力ある公共交通サービスへ）	R2	R6
2-3 啓発チラシやSNSサービスを活用した情報発信回数	年3回	年14回
2-4 夏休み小学生50円バスの利用者数	104人 (R3実績)	210人
目標3（持続可能な公共交通サービスへ）	R2	R6
3-2 デマンド型乗合タクシーの乗合率 (全地区合計)	1.21人/台	1.30人/台
3-3 コーちゃんバス1便あたりの利用者数	1,002人	1,766人

2. 進行管理の基本的な方針

【実施体制】

- 本計画で定める各種事業を計画的及び効果的に実施するため、市民、交通事業者、行政などで構成する「湖西市地域公共交通会議」が主体となり、関係機関などの意見を反映しながら事業を進めます。
- 湖西市地域公共交通会議を開催し、事業の進行を管理します。
- 事業の進行管理においては、計画から実施・評価を一連の流れとして実施する「PDCAサイクル」の考え方により、個別事業の実行による評価や計画の見直しを適切に進めることで、本計画の計画的・効果的な実施を進めていきます。



【計画の評価スケジュール】

- 本計画の進行管理・評価は、PDCAサイクルにより以下のスケジュールに基づき進めます。

	1年目		2年目		3年目以降
	前期	後期	前期	後期	
PLAN 計画		必要に応じて見直し			
地域公共交通計画	→				
DO 実行	→				
個別事業の実施	→				
地域公共交通確保維持改善事業	→				
CHECK 評価	→				
個別事業の進捗管理 (公共交通会議) (市民からの意見徴取)	→				
地域公共交通確保維持改善事業 事業評価	→				
ACTION 見直し	→				
事業の見直し・評価	→				

